

東北公益文科大学

総合研究論集

第23号

資料紹介

山形県立自治講習所日誌(第三回目)——大正八年—大正九年

三原容子

二〇一三年一月三十一日発行

山形県立自治講習所日誌（第三回目）——大正八年～大正九年

三原 容子

『東北公益文科大學総合研究論集』の第二十号（二〇一一年七月）に、一九一六（大正五）年の第一期生の日誌を、同第二十一号（二〇一二年一月）に、一九一八（大正七）年の第三期生と短期講習生の両日誌を判読し紹介した。今回新たに三点を紹介するにあたって、説明の重複を避けるため、既刊分を参考にされたい。

しかし、新たに見つけた先行研究を紹介せねばならぬであろう。それは村山市史編さん委員会編集『村山市史編集資料』の第七号（一九八〇年三月発行）と第一四号（一九八五年三月発行）である。第七号には、「葉山山麓開発に関する資料 其の一」、第十四号には「葉山山麓開発に関する資料 其の二 加藤完治と山形県立自治講習

所資料特集」とサブタイトルが付いている。自治講習所は一九二〇（大正九）年に大高根村（現村山市）の約六十二ヘクタールの開墾を開始し、実習の舞台が山形市内の借地から大高根道場（現陸上自衛隊大高根演習場）に移ったため、村山市史には不可欠のテーマである。

第七号は村山市富並の石沢秀雄氏収蔵資料をまとめたもので、榎昭一による解題がついている。筆者が進めている判読作業との関連が大きいのは第一四号である。上山農業高等学校（現上山明新館高等学校）所蔵の資料を紹介しているからである。そこに判読掲載された資料は以下の通りである。

・大正七年自治寮日誌（一月十五日～五月二三日分）

二三頁～五八頁（五月二四日以降が欠けている理由は不明。筆者による第二十一号の資料紹介では六月二十二日まで。）

・大正十一年自治寮日誌（五月六日～十月十九日分）
五九頁～九八頁（今後判読する予定であったが、作業が不要となった。）

・講習生名簿（第一期生～第十七期生及び見習生）九
九頁～一三一頁

筆者が発表してきたものは、PDFファイルでインターネットを利用して見られるため、「自治講習所」等の検索ワードでヒットする。自治講習所出身者の子孫の方から問合せをいただくこともある。うかつにも今まで気づかずにきた先行研究が、これを機に利用されれば幸甚である。なお、今回の三資料の判読には、鶴岡市郷土資料館の今野章氏の手助けをいただいた。

① 第四期生「日誌」（大正八年一月十五日～七月三十一日）

② 第三回短期講習生「日誌簿」（大正八年八月十一日

～二十日）

③ 第五回長期講習会「日誌」（大正八年十一月二十日～大正九年四月二十六日）

共通凡例（「」内はすべて三原による）

・変体仮名はすべて現在の平仮名に改め、必要に応じて句読点を入れた。片仮名と平仮名は原文通りである。濁点のない仮名はそのままにしてある。「止し（止す）」「致し（致す）」「煩すた（煩した）」等の訛り表記も原文通りである。また、適宜改行した。

・明らかな誤りと考えられる場合、すぐ下に正しいと思われる文字を「」で示したり「ママ」と付けたりしたところも一部にあるが、「正後（正后）」、「后午（午後）」、「寒冒（感冒）」、「直真影流（直心影流）」、「学科」と「学課」など、たいいていは原文のままにしておいた。傍線（一本線、二本線）もそのまま表示す。

・旧字体は新字体に改めた。「全」と「シ」は「同」とした。不明箇所は□としたが、なるべく「」内に判読案を示した。

・日付と曜日のみ太字表記とした。

・読む際に返り点を必要とする箇所はほとんどないが、「被下」は頻出する。「くだされ」「くださる」と読む。また、「就寝く」は「ねつく」だろう。

①

〔表紙〕

自大正八年一月十五日 至大正八年七月三十一日

日誌

第四期自治講習会

〔本文〕

日誌

一月十四日、火曜日、降雪

正後ヨリ各自所長ノ指定室ニ入ル。午後一時半ヨリ道場

ニ於而体格検査ヲ受ク。

食事、午後六時一同食堂ニ集合、室順ニ列シテ食事ニ就

ク。

集合、午後七時ヨリ道場ニ集合シテ加藤所長ヨリ入所中

の心得其他諸慣例ニ関スルコト。猶講習生中年長

者ニシテ各地方分ケニシテ加藤所長ヨリ委員六名ヲ選定サル。

委員、黒田好一郎、齊藤理兵衛、廣野數馬、安彦栄次郎、

志田喜市、穴戸利雄

委員ハ散解後直チニ事務室ニ集合シテ、炊事掃除火当番等諸種ニ付協議セリ。

午前五時起床、五時三十分ヨリ朝食マデ武道、午前五時三十分ヨリ炊事及掃除等各組分ニテ各作業任務ニ就ク。

午前八時ヨリ学科。午後一時半ヨリ全員ノ半数ハ実習、他ハ武道。午後七時自九時マデ黙読時間。九時自リ礼拝シテ就寝。

礼拝、午後十時一同講堂ニ集合、礼拝ヲ行ヒ就寝セリ。

七月〔二月〕十五日 水曜日 晴

起床、本日限り六時起床、昨夜定ムル所ニ依リ各作業任

務ニ就ケリ。

食事、午前七時一同食堂ニ集合シテ君が代ニ回合唱、敬

礼後当番順ニ列シテ食事ニ就ク。

入所式、午前十時左ノ順序ニヨリ入所式挙行ス。

順序

- 一、開式ノ辭
- 一、君が代再唱
- 一、所長ノ告辭
- 一、知事ノ訓示
- 一、來賓ノ祝辭
- 一、講習生総代答辭
- 一、所長ノ挨拶
- 一、閉式

以上

大正八年一月十五日

午後一時ヨリ県立農事試験場ニ開催ノ稲作講習会
二行ク。午後三時帰所。午後七時ヨリ県会議事堂
ニ開催の山形県下青年団活動ノ幻灯会ニ行ケリ。
午後九時二十分帰所。

礼拝、午後九時二十五分講堂ニ集合、礼拝ノ上就寢。

一月十六日 木曜日 午前中晴以降雪

起床、午前五時ニ起床シテ各作業任務ニ就ケリ。參、四

組武道。

食事、午前七時食事、食事前食堂ニ集合シテ君が代再唱
ノ上天皇陛下弥栄（いやさか）三回高唱ス。

集合、午前八時一同講堂ニ集合シテ所長ヨリ時間割ヲ告

ゲラル。各時間ノ説明等アリタリ。午前九時ヨリ

農事試験場ノ稲作講習会ニ行キタリ。後三時帰所。

茶話会、午後七時ヨリ図書室ニ集合シテ茶話会ヲ開會セ

リ。茶話会の模様左に示ス。

第一所長自り体を丈夫に持ちて此の六ヶ月の間を
面白く且有益ニ暮し様にと注意ありたり。尚所長
彼自身修養時代病気の処理方等話されたり。新聞
ヲ共同して購入する事。山形新聞は所長ヨリ寄付
被下と云ふ事。朝日、国民、万朝報の各新聞ニ決
したり。漢文ヲ書く用紙共同購入スルコト。各自
の名氏〔名刺〕交換したり。尚所長ヨリ諸種の注
意有リタリ。

礼拝、九時過ぎ一同講堂ニ集シテ礼拝シ就寢セリ。

一月十七日 金曜日 降雪

事試験場二行ケリ。午後二時半帰所。

起床、午前五時起床シテ各自作業任務ニ就ク。且又二組
四組武道。所長ヨリ二組の掃除の仕様粗末ニ付
(すみ)より隅まで立派ニ掃除ヲスルコトト注意
ありタリ。午前九時三十分ヨリ農事試験場の稲作
講習会へ行く。午後三時帰所。

礼拝、午後九時講堂ニ参集、礼拝行ひ就寝ク。

加藤技師来所、三時加藤陸羽支場長来所下され自治寮ヲ
巡回さる。尚図書室ニ集会して加藤様、加藤所長
ヨリ有益なる事を講話なし被下る。四時帰宅なさ
れたり。
礼拝、午后九時十五分講堂ニ集合シテ礼拝ス。其れより
就寝ケリ。

一月十八日 土曜日 晴

一月二十日 月曜日 降雪

起床、午前五時起床シテ各自作業任務ニ就ケリ。二、四
組武道。午前九時ヨリ稲作講習会に行ケリ。午後
三時帰所。本日ヨリ兼ネテ注文シ居ル国民、朝日、
万朝報等ノ各新聞紙到着シテ読ムコトヲ得タリ。
日陸羽農事試験場長ノ加藤様の来講あらる、事を
告げらる。

起床、午前五時起床シテ各任務及ビ武道ニ就ク。午前八
時ヨ〔ヨリ〕十一時半マデ剣道及ビ柔道ヲ教ヲ受
ケタ。剣道ト云イ柔道ト云、真面目ナル真剣勝負
デ致ス様ニト所長ヨリ注意されたり。
学科、講堂ニ参集シ農村経営ノ御話シヲ聞イテ皇国ノ精
神ニ就而感ニ打タレタ。
礼拝、午後九時講堂ニ於而礼拝ノ上就寝ク。本日数名寒
冒ニ掛リ居ルカラ氣ヲ付クベシト注意アリタリ。

一月十九日 日曜日 降雪

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。午前九時ヨリ農

一月二十一日 火曜日 大吹雪

起床、朝五時三十分ニ起床シテ各任務ニ就ク。本日ハ大

寒ノ入口トテ寒氣厳シクテ尚降雪多大ナリ。故ニ

寒冒ニ罹リタル者六七名居ル。所長ヨリ病氣ニ罹

リタル時ノ覚悟自心(ママ)ノ態度等ニ就キテ注

意アリ。

学科、八時ヨリ十時マデ講師ノ都合ニヨリテ習字ヲセリ。

船越先生ヨリ教ハル。後医師来所シテ寒冒ノ病体

ノ検査シ行カレタリ。

礼拝、午後九時講堂デ礼拝ノ上就寝ク。

一月二十二日

午前五時起床シテ各任務ニ就ク。他ハ武道。

学科、午前八時より十時マデ習字、十一時半まで農村経

営、午後一時より師範学校ニ行キテ唱歌ヲ聞キタ

リ。三時半帰所。

告示、明日ヨリ第壹室ヨリ順番デ一人宛郵便事務当番ニ

当ルコト。自午前八七時半マデ。至午後八六時半

マデ。

食事、所長ノ誕生日トテ、ウドンヲ御馳走被下タリ。

礼拝、午後九時講堂ニテ礼拝ノ上就寝ク。

一月二十三日 木曜日 曇時々降雪

起床、朝五時三十分起床シテ各任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マデ習字、十二時マデ産業組合ノ歴

史デアッタ。此ノ時各有名ナ至誠家ノ話ヲ聞テ至

誠ノ心ヲ腹中ニ抱キテ物事ハ凡テ至誠ニ当ラナケ

レバナラント確心(確信)セザルハナカリキ。午

后ヨリ講習所廻リノ道及公衆ノ為メ所前葉師町街

道ノ道踏ヲナセリ。巡回巡查曰ク、実ニ有難イト

云、ニコニコ顔。本日限り黙読時間ハナシ。

礼拝、午後九時ヨリ礼拝シテ就寝ク。

一月二十四日 金曜日 晴 曇リ

起床、午前五時起床シ各任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ井上先生ノ土壤学、十時ヨリ十一時

三十分マデ大麻理事官ヨリ自治制度ヲ教授サレタ

リ。

武道、午後二時ヨリ剣道及柔道ヲセリ。

注意、加藤所長ヨリ第壹組ノ掃除ノ致シ様粗掃〔粗相〕

ニ付、掃除ノシナヲシ、又掃除バカリデハナク何事ニテモ責任ヲ負テシナケレバナラン、即チ掃除ニ於テヲヤ、衛生上ヨリ見テ皆ソノ大ナル責任ヲ負ヒテシナケレバナラント、各員一同ニ注意下サレタリシテ、所長自ラ始メ構内ノ掃除ヲ行ヘリ。吾レ等責任ヲ負テ仕事ヲスルコト得シテ確心シナケレバナラント心掛タリ。

礼拝、午后九時礼拝シ就寝ク。

一月二十五日 土曜日 時々晴午后降雪

起床、午前五時ニ起床シテ各任務ニ就ク。

委員会、食后ヨリ八時マデ所長室ニ委員集合シテ、然シテ努力節減及各室内火鉢ノ火ヲ利用シ得ルコトシテ、汁及湯、各組々ニテハ煮テ食事ノ際持参スルコト、但シ汁ハ炊事当番は献立ヨリテ分与スルモノトス。就寝ノ際火消壺ニ入レルコト、以上。

学科、午前八時ヨリ十時マデ論語ヲ書ク。十時ヨリ十一時半マデ町村自治（長沢地方指導）、午后ヨリ休

ミ、柔道セルモノモアリ。

礼拝、午后八時半礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

一月二十六日 日曜日 晴

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。本日ハ日曜日ニ付キ中学生師範生及軍人等各友人ノ来訪アリタリ。礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ。

一月二十七日 月曜日 晴

起床、朝五時起床シテ各任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マテ農村経営・内吾人之修養、之ヲ聞キテ笑ク（ママ）実行せずんばあらず。深く各自に徹底せり。

師範ニ、午後一時マデ師範学校に行キテ物理唱歌等受授せり。三時帰所。各組別レテ講内（ママ）全部掃除せり。九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。本日産業組合ノ教科書ヲ実費デ買ひたり。

一月二十八日 火曜日 温度 カ二八 セ〇二度 晴

起床、朝五時ニシテ各作業任務ニ就ク。本日ノ朝ハ酷寒デアツタ。

学科、八時ヨリ十時マデ加藤所長ノ農村経営、十時ヨリ十二時マデ県下ノ産業（農業）農務課長。

農場へ、午後一時ヨリ農場へ行キテ雪下ニアル蕪菁ヲ収穫シタリ。北風の寒風に吹通サレ実ニ寒カツタ。然シ全力ヲ尽シテ収穫せり。

午後六時ヨリ七時マデ柔道。

礼拝、九時礼拝ヲ行ヒ就寝。

告示、新聞紙ハ乱ニ各室ニ持チ行キテ見ザルコト、之レヲ整理致シ為め、綴ズルコトヲ齊藤理兵衛君と渡邊亀一郎君ニ委任ス。

一月二十九日 水曜日 温度 カ二八
セ〇・一度

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。午前八時ヨリ「マ」九時マデ室内デ各論語ヲ写シ。同九時ヨリ十一時マデ産業組合（村松産業主事補）。同十一時一拾貳時マデ農村経営（加藤所長）。午后ヨリ師範学校ニ行キテ唱歌二時間受ク。

告示、明三十日午后五時三十分ヨリ第二回茶話会開ク。

炭の節減利用法ハ其時マデ考ヲ発表スルコト。フトンノ借リル人ハ井上先生預出ズルコト。寝具一夜ニ付五錢宛払ふこと。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ寝ニ付ク。来ル二月一日は靖国神社へ参拝行クコトニ注意アリタリ。

一月三十日 木曜日 温度 カ二九度
セ〇・一度 晴

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ十時マデ農村経営。十時ヨリ十一時四十五分マデ産業組合。

集会、午后二時ヨリ図書室ニ集合シテ一月分ノ諸係費の會計ヨリ報告及今後ノ生活問題ニ付キ会ヲ開キタリ。一、闢議（討議）事項、協議事項、尚炭ノ經濟法、室内外ノ掃除及炊事ノ致様等あらゆる事に付き協議及所長諸先生ヨリ注意下サレタリ。

茶話会、午後五時半ヨリ図書室ニ於而第二回ノ茶話会ヲ開ク。各談笑埋（裡）ニ入りタリ。特ニ所長ノ親友等の（約二字分空き）談には（約二字分空き）

ハジレルバカリデアツタ。

礼拝、午後九時講堂ニ集合シテ礼拝ヲ行ヒ直ニ就寝せり。

一月三十一日 金曜日 温度^{カ二六}_{セ〇・六}度 晴

起床、午前五時起床シテ各作業任務ニ就ク。

学科、午前七時二十分ヨリ農村経営、八時ヨリ十時マデ

町村自治、十時ヨリ十二時マデ土壤及肥料。午后

ヨリ武徳会ノ剣道及柔道及〔乃〕試合ニ行く。本

日は遠近ヲ問ハズ半数以上各々帰省せり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寢床せり。

二月一日 土曜日 温度^{カ三〇}_{セ七}度 快晴 丹内

起床、午前五時起床スルヤ各室ヲ掃除シ、後少数ノ人ハ

本日ハ神社参拝当日ナレバト寒サヲ冒シテ水浴

ヲナス。尚本日ハ、炊事ヲ加藤先生、火当番風呂

及ビ廊下講堂ノ掃除ヲ井上先生、各御一人ニテ致

サレシ事ハ殊ニ御礼ノ申シ様ナク、只々感謝ノ外

ハナク、今後吾等モ出来ル文節約シテ此ノ御恩ニ

報セザル可ラズ。

参拝、靖国神社参拝、午前七時半ニ第一組及ビ第三組ハ

社前ノ雪払ヲナシ約四十分ニテ帰レリ。午前九時

舎生全部参拝、社前ニテ所長ノ訓示アリ。老松ニ

雪ノオホヒカブサリタル様ハ高尚ナリキ。

学科、午前十時ヨリ約一時半加藤先生ノ講話アリタリ。

雑事、昼食ノ際油揚十五枚紛失セルヲ発見、過日モ二十

枚紛失セル事アリ。今後愈々注意セザル可ラズ。

外出スル者多ク先日ノ盛ンナリシニ対シテ寂シサ

言ハン方ナシ。

礼拝、午後九時礼拝、直チニ就寝セリ。

二月二日 日曜日 晴 丹内

起床、本日は五六人残して全部帰省せしかば特別を以て

五時三十分起床とす。今日も亦加藤所長と井上先

生が炊事や掃除当番をなし下さる。日曜日のこと

なれば師範生や中学生、牢人等が舎生の帰宅せる

を知らで訪問する者多し。

礼拝、午后九時に少数の人々に依つて行はれたり。

二月三日 月曜日 晴

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マデ町村自治、十時ヨリ習字せり。

午後ヨリ師範行キ理科及唱歌ヲ習ひ後大掃除ヲ行

へり。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寝就せり。

本日大抵舎生帰舎ス。

二月四日 火曜日 午前晴、後曇、夜降雪、風

起床、午前五時ニシテ各作業任務ニ就而せり。

学科、午前八時ヨリ農村経営、十時ヨリ県下ノ産業、午

后三時マデ町村自治。

雑感、本日ハ寒明キ、即チ節分デアル。午前中に非常ナ

ル好天気デ午後ヨリ一変せり。夜ハ寒風風々たり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

二月五日 水曜日 温度^カ三〇^〇 降雪^セ

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ク。

学科、産業組合歴史 加藤所長、土壤 井上先生、林学

大意 立岩精一氏（県林務課）。午後一時ヨリ産業組合ノ歴史 加藤所長。

食事、夕食ニ講習生ノ廣野数馬君ハ御土産トシテ兎を御

馳走被下サレタリ。午後八時ヨリ柔道せり 船越

先生

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ然シテ寝就ク。

二月六日 木曜日 温度^華三三^三度 晴時々降雪^摂〇・五

起床、朝五時ニ起床シテ各任務ニ就ク。

学科、農村経営 加藤所長午前八時ヨリ十時まで。産業

組合歴史 加藤所長十時ヨリ十二時マデ。

告示、バリカン購入シタルニ付、使用者ハ廣野君ニ申出

るコト。朝食ト礼拝ノ集合ハ各自気附ケテ早く集

ルコト。午後ヨリ自由研究。

礼拝、午後九時講堂ニ集合シテ礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

所感、近頃天氣の加減か、講習生大多數頭痛ヲ覚ユ。此

レ如何ニシ処理スベキヤ。

二月七日 金曜日 温度^カ三一^三度 晴風アリ^セ

起床、午前五時起床シテ各任務ニ就ケリ。

学科、農村経営 八時ヨリ十時マデ 加藤所長。土壤肥

料 十時ヨリ十二時マデ 井上先生。

武道、午後一時半ヨリ武道ヲセリ。一本目修業中。五時

マデ柔道ヲセリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寢就ク。

二月八日 土曜日 温度^カ三〇度^セ 晴

起床、午前五時起床シテ各々任務ニ就ケリ。

学科、八時ヨリ十時マテ輪講（論語学而第二）所長。

武道、後十二時マデ武道ヲセリ、后ハ休ミ。

礼拝、午後九時ニ礼拝ヲ行ヒテ寢就ク。

二月九日 日曜日 温度^カ二六度^セ 快晴

起床、五時半起床シテ各々当番任務ニ就ク。

所長、午前六時ノ汽車にて最上郡ニ御出被下レタリ。本

日中学生及軍人等数名来訪アリタリ。

礼拝、午後礼拝ノ上就寝ク。

二月十日 月曜日 温度^カ二六度^セ 午前晴午後曇雪

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ケリ。

七時三十分ヨリ九時マデ習字 船越先生、十時マ

テ自治制度 大麻理事官、十二時マデ行政 矢巾

教習所長。

午後ヨリ師範学校ニ行キ唱歌及物理等習ひ三時帰

所セリ。直ちニ各組分担シテ定例ニ付大掃除行へ

り。加藤長（ママ）ハ便所ノ掃除且各組ニ手伝ヒ

ナシ下サレタル事、実ニ有難く、一同感謝仕リマ

ス。我々モ尚最善ノ努力ヲ尽シ、且責任ヲ全シテ

御恩ノ万分ノ一ヲ酬イズンバ息ザルカンガエナリ。

食事、夕食ノ時押野峯吉君ハ豚肉ノ饗応アリタリ。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

委員会、所長室ニ委員集合シテ明日挙行ノ式順及押野峯

吉君ノ豚肉ニ付キ協議及其他ニ付キ相談セリ。

二月十一日 火曜日 温度^カ三〇度^セ 曇り及少々降雪

起床、午前五時起床シテ当番ニ就ク。然して被ヲナセリ。

紀元節、午前六時三十分ヨリ講堂ニ於て紀元節ノ式ヲ挙

行ス。

式順

一、礼拝

一、君が代 再唱

一、紀元節唱歌

一、弥栄 三奏 終り

学科、ナシ。然シ十時頃マデ柔道ノ試合ヲナセリ。午後

三時ヨリ講習生一同官舎ニ招待サレ茶及糯の饗応

ナシクダサレタリ。然して種々の修養ノ法及經驗

談ヲナシ下サレ、実ニ有益ニ、尚御馳走様ニナリ

マシタ。五時帰所。

食事、六時頃食事セリ。本日ハ桜豆ヲ入レタ飯ノ試食デ

アツタ。今後モ尚々諸種ノ食量品〔ママ〕ニ対シ

試食ヲナス。体ニ異上〔異状〕ナキ限リニ生活ス

ルコト要ナリト心得タリ。

礼拝、午後七時ニ礼拝ヲ行ヒ各人自由勉強シルコトトナ

セリ。九時頃就寝スルコト。

二月十二日 水曜日 温度 10.2°C 度 大吹雪

起床、五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ十時マデ肥料、井上先生、午前十時

十二時マデ農村経営、加藤所長、午後ヨリ師範学

校ニ行キテ唱歌ヲ習ふ。唱歌ニ出席者少ナカリキ。

食事、夕飯ニ五目飯デ大変ナ御馳走デアツタ。

礼拝、九時礼拝ノ上寝就ク。

二月十三日 木曜日 温度 10.1°C 度 晴

起床、五時ニ起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マテ農村経営 加藤所長、十時ヨリ

十二時マテ産業組合 村松産業主事、午後一時ヨ

リ三時半マデ農業 鈴木練太郎氏。

告示、明日第三回茶話会開クニ当リ問題ノ有ル人ハ委員

ニ申込マルベシ。

礼拝、午後八時三十分礼拝ノ上就寝ク。

二月十四日 金曜日 温度 10.2°C 度

起床、朝五時半起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ十時マデ土壤肥料 井上先生、同十

時ヨリ十二時マデ自治制度 大麻理事官、午後ヨリ学科休ミテ武道ヲセリ。

茶話会、午後六時三十分ヨリ図書室ニ於而第三回茶話会ヲ開会ス。委員ヨリ開会ノ辞及少々の感想等ノ話シアリ。次に茶菓ヲ食乍ラ幼児ヨリノ今マデノ間ノ印象ヲ話シ事。所長印象及井上先生ノ話等非常ニ有益デアッタ。尚講習生トシテ体面ヲ保ツコトニ付、注意及研究等有リタリ。余興トシテ所長ノ薩摩琵琶等アリテ盛大ナリキ。午後十時ニ解散セリ。

礼拝、午後十時礼拝ヲ行ヒ就寝セリ。

二月十五日 土曜日 晴

起床、五時ニ起床シテ各作業任務ニ就ク。

参拝、七時半ヨリ靖国神社ニ参拝ス。

学科、八時半ヨリ十時マデ論語講義 加藤所長。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寢就。

午後七時半ヨリ県会議事堂ニ於而第十七回定期講演会ヲ開催サル。有志数名聞キニ行キタリ。

二月十六日 日曜日 晴

起床、朝五時ニ起床セリ。当番任務ニ就ク。外出する者多大デアッタ。尚帰郷せる者十名程アリ。武道ヲセリ。

二月十七日 月曜日 快晴

起床、朝五時起床シテ当番任務ニ就ク。

学科、産業組合ノ歴史 加藤所長、行政 矢巾教習所長、

午後ヨリ師範学校ニ行キテ理科及唱歌ヲ習フ。定

例ニ依リ分担シテ大掃除ヲ行フ。

礼拝、午後九時ニ礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

数日前帰宅せる人々は二人を残すのみ。皆帰寮セリ。

二月十八日 火曜日 温度 カ 四二度
セ 六度 午後三時 晴

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マデ農経 加藤所長、十時ヨリ十二

時マデ農業 農業試験員藤田先生、后 武道 四

本目 新教授 所長。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寝就ク。

一月「二月」十九日 水曜日 温度^{カ三八}_{セ七四}度 快晴

起床、朝五時二起キテ当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マデ農場ノ話 加藤所長、十時—十

二時 林学 立岩林務課、午後師範学校ニ行キ唱

歌二時間習ヒ来タリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒテ寝ニ就ク。

式月二十日 木曜日 温度^{カ三八}_{セ七四}度 雪

起床、朝五時二起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ九時半農場ノ話 所長、十二時マデ肥料

井上先生、后後三時まで産業組合 村松産業主事。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ就寝セリ。

所長、午前九時ヨリ午後四時頃マデ村山郡豊田村、午後

六時ヨリ南村山郡金井村に御講話ノ為め御出張ナ

サレタリ。

二月廿一日 金曜日 温度^{カ三四}_{セ七一}度 快晴

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時自十時至習字清書 船越先生、十時自十二時

至 蔬菜栽培法 加藤所長、午後より武道。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

二月廿二日 土曜日 温度^{カ三四}_{セ七一}度 降雨

起床、朝五時二起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科ハ論語ノ講義 加藤所長。十時ヨリ十二時マデ撃劍

ノ試合ヲ行ヒたり、勇敢デアッタ。

茶話会、午后三時頃より道場ニ於而茶話会ヲ開ク。会費、

所長寄附、茲に各人ヨリ五錢ヨリ十錢迄ノ間其ノ

人ノ心次第ニ出合テ茶菓代ニ充ツ。九州鹿児島ニ

安在ナシ居ル花田中佐ノ熟〔塾〕ニ居ッタ東京府

北多摩郡視学海会田〔約一文字空き〕氏ガ来所下サ

レ所内巡視ナサレ、且又茶話会ニ臨ミ被下熟〔塾〕

の話等ナシ下サレタリ。尚所長ヨリ長期旅行中ノ

模様等話サレ愉快デアッタ。

礼拝、後九時礼拝を行ヒ就寝キタリ。

二月廿三日 日曜日 温度^カ_セ四八度 曇 雨

起床、五時半、起床シテ各当番任務ニ就ク。

来校者、東京府渋谷町尋常高等小学校長、東京市本所区

尋常小学校長、所長ノ案内ニテ講内巡視セラレタリ。尚数名、武道ヲモ致して觀せやりたり。

二月廿四日 月曜日 温度^カ_セ四八度 曇 晴

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時—十時 蔬菜栽培 所長、十時—十二時 行

政 矢巾教習場長。

大掃除、定例ニ依リ大掃除ヲ行ツタ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寢就ク。

二月廿五〔ママ〕 火曜日 温度^カ_セ四八度 快晴

起床、朝五時ニ起キテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時—十二時マデ 農村経営 加藤所長。

実習、午後ヨリ一組二組（半数）人糞尿運搬、農場まで。

三組労働分配表写し。四組図書室整理。

礼拝、午後九時礼拝を行ヒ就寝ク。

二月廿六日 水曜日 温度^カ_セ三〇度

起床、午前五時ニ起床シテ各当番任務ニ就ク。

朝礼、七時食事前君が代再唱ノ際、杯山の頂より太陽赫

灼ト照リ出シ光芒目に撮じて其ノ美觀言語ニモ尽ス能ハズ。

学科、八時—十時 習字 船越先生、十時—十二時 林

学 立岩林務課、午後師範学校ニ行キ唱歌ヲ行フ。

各国国歌ノ蓄音器及小学校児童ノ唱歌を聞く。五

時マデ武道ヲせり。

礼拝、九時礼拝ヲ行ヒ寢就ク。

二月廿七日 木曜日 温度^カ_セ三〇度 晴

起床、朝五時ニ起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八—十時マデ農村経営 加藤所長、十時—十二時

労働分配表写し。後三時マデ産業組合 村松産業組

合。

茶会 午後六時半ヨリ図書室ニ於而第四回茶話会ヲ開ク。

農場の話や二月分経費報告、尚各自ノ印象等話サレタ。然し乍ら不幸にして流行性寒冒に罹リタル

者居るに付、所長ノ意志ニモトゾイテ図書室へ二

三日中隔離致シ事にして準備ヲナシテ、然シテ午

後九時礼拝後直チニ隔離せり。

二月廿八日 金曜日 温度不明 晴後雪

起床、午前五時起床シテ然シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時—十時 習字清書 船越先生、十時—十二時

肥料 井上先生、午後三時三十分マデ藁細工 縄

ナイ一二組、人糞尿運搬 農場マデ 三、四組、

所長ハ昨夜ヨリ本日一日寒冒ノ人ヲ看護シ下サレ

タリ。何んと忝ケナキコトデアリマス。

三月一日 土曜日 温度不明 晴午后風有

起床、朝五時起キテ然シテ各々当番任務ニ就ク。

参拝、午前八時三十分ヨリ靖国神社へ参拝ス。

学科、九時半ヨリ論語読解 加藤所長。午後師範へ開催、

市内各小学校ノ聯合音楽会ヲ開催ヲ聞キニ行ケリ。

本今朝五時ヨリ帰宅スルモノ多ク、残レルハ只十

一名のみである。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

三月二日 日曜日 温度^{カ三二}〇度 曇寒風少雪

起床、午前六時起床シテ各分担シテ各任務ニ就ク。午后

四時ヨリ出征軍人（輜重輸卒）凱旋ノ為、停車場

ニ参集。六時半頃着セルニ付キテ万歳ヲ唱ヘテ感

謝ノ意ヲ表シテ七時帰所。九時礼拝ノ上寝就ク。

三月三日 月曜日 温度^{カ二六}七〇^三度 曇少雪、風

起床、朝六時起床シテ各任務ニ就キ七時食事ニ就ク。

休日、本日 李太王殿下ノ国葬ニツキ一日休業ノ上慎ミ

テ居タリ。自習等ナシ居レリ。

帰所、昨日一昨日帰宅せる人々は午后六時頃より大抵帰

所せり。九時礼拝ヲ行ヒ寝就ク。

三月四日 火曜日 温度^{カ三六}七^二度 晴 風有

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時—九時マデ 農村経営 加藤所長、九時ヨリ

十二時 県下農業 藤田先生。

実習、午後ヨリ直チニ左ノ組分ケニテ実習ヲナシタリ。

一、二組 農場へ行キ茅蕪菁收穫、 堆肥稀

釈 人糞尿運搬 牛肥堆積。三、四組藁細工（繩

製造）。

大掃除、三、四組、先生ト共ニ実習後大掃除ヲ行フ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ就寝せり。

三月五日 水曜日 温度^カ三〇度 晴

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ十時 農村経営 加藤所長、十二時

マデ 県下ノ林業大意 立岩林務課、午後ヨリ師

範学校へ行キ唱歌ヲ習フ。

見送、午後六時二十四分に師範学校樋渡教諭ノ転任ニ付

停車場マデ見送をなせり。帰所ノ際停車場ヨリ四

列縦体（縦隊）ニナツテ速歩ヲナせり。実ニ勇敢

デ然カモ持久力ヲ養ふニ最モ良法デアッタ。愉快

愉快。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝く。

三月六日 木曜日 温度^カ三四度 晴 風有

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時自十時至 農村経営 加藤所長、十二時

マデ 土壌 井上先生。

実習、午後一時ヨリ一、二組 藁細工（繩製造）、三、

四組ハ農場ニ行キテ畑耕耘シテ麦ノ春蒔、牛肥堆

積等ナシタリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ直チニ就寝ス。

三月七日 金曜日 温度^カ四九度 快晴

起床、五時ニ起床シ各当番任務ニ就ク。

学課、自午前八時至十時 土壌学 井上先生、自十時二

十分至十二時 農村経営 所長。

実習、午后零時三十分ヨリ炊事当番ヲ除キ全部農場ニ行

キ、堆肥製造、苗床作製其ノ他畑ノ耕耘ニ従ヒヌ。

春日赫ト照リ気朗カニ、イト長閑ケキ小春日和ナ

リ。全身ノ力ヲ振ツテ労働ニ従ヘバ玉ナス汗ハ快

ヨク流ル。汗滴干（禾）下土、粒粒皆辛苦、労働

ハ其レ尊キモノ乎矣。

訪問者、午后七時、村農教諭金田靖彦氏来所セリ。

礼拝、九時ニ礼拝シ其事〔後〕就褥。

三月八日 土曜日 温度^{七 十度}_{華 五十度} 晴

起床、五時各当番任二当ル。

学課、自八時至十時、論語講義 加藤所長。

実習、午后ヨリ帰省セルモノト炊事係トヲ除キ全部農場

ニ行キ、苗床作製、麦ノ追肥、蕪ノ收穫等ヲナシ

ヌ。帰途車ニ載セテ蕪、大根、沢山寮ニ二〔マ

マ〕持チ来リヌ。四時過ギ大麻理事官、佐々木内

務部長来場シ蕪ヲ注文シ去リヌ。

礼拝、九時ニ礼拝后就褥。

三月九日 日曜日 温度^{撰 九度}_{華 四十八度} 曇、小雨アリ

起床、午前五時起床シ当番任務ニ付ク。十時頃ヨリ柔道

ノ稽古ヲナス。日曜ナレバ讀書ヲナスモノ淌洋

〔逍遙〕スルモノ等アリ。

礼拝、九時礼拝就褥。

三月十日 月曜日 温度^{撰 九度}_{華 四十九度} 小雪午日小晴

起床、五時各当番任二付ク。

学課、蔬菜 加藤先生 八時ヨリ十一時マデ、行政 矢

幅警視 十一時ヨリ十二時マデ。

講話、陸軍記念日ナレバ大掃除ヲ了セル。午后二時ヨリ

講堂ニ於テ山形三十二聯隊第二大隊長渋谷少佐ノ

黒溝台ノ戦闘ニ関シ三時間ニ亘ル講演アリ。悪戦

苦闘ノ結果占領セル黒溝台ト三十二聯隊トノ因縁、

其レニヨツテ得タル教訓、吾人将来ノ覚悟、将来

ノ戦争等ニ付キ、力強キ語調ヲ以テ吾人ヲ魅セリ。

言々皆肺腑ヨリ迸リ出デ、皆吾々ノ胸ヲ衝ク。得

ル処甚ダ多シ。五時半ヨリ図書室ニテ簡單ナル茶

話会ヲ催シ少佐殿ノ座談ヲ聞く。少佐殿ト一同会

食ス。

礼拝、礼拝后明日九時四十五分ノ列車ニテ清水及衛氏来

所スル旨、加藤先生ヨリ教示アリ。

三月十一日 火曜日 温度^{撰 九度}_{華 四十九度} 快晴 仁藤

起床、午前五時起床シ各当番任二就ク。

学課、自八時至九時半 加藤先生農経、自九時五十分至

十一時十分 伊佐早先生講演。

実習、午后ヨリ農場二行キ畑中耕、蕪洗ヒ、堆肥運搬等

ニ従事シヌ。九時幾分の列車ニテ清水及衛氏来所

スル筈ナレハ、井上先生停車場マデ迎ニ行ク。偶

然九時二十分頃伊佐早先生来所セリ。直チニ先生

ノ造詣深キ論語ノ講演一時間余ニ亘リテ教ヘ下サ

ル。禿ゲ上リタル頭ニ碩学ノ輝キ有様ニ覺えたり。

胸ニ一沁ム。

三月十二日 水曜日 曇り

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前自八時至十時 県下ノ林業 立岩林務課、午

前自十時至十二時 清水先生ノ御話シ。

試合、午后一時半ヨリ巡查教習所道場ニ於テ而教習生ト講

習生ト分ちテ紅白試合ヲ挙行ス。擊劔ト柔道一本

勝負デアッタ。実ニ元氣溢る、はかりで勇敢且男

子らしき行為であった。殊に加藤所長と矢幅所長

との試合は実に勇壯且又模範試合デアッタ。尚最

高切抜順にて三等まで賞与アリタリ。次に一本以

上勝ちたる者之之又賞与へられたり。試合は六時

半頃終り、其れより一同茶話会をなし、且夕食を

共にして実に面白ク談笑裡に入り、七時半頃講習

生一同巡查教習生弥栄三奏して、教習生は講習生

万歳三呼せり。然して愉快に解散せり。

礼拝、午后九時礼拝ノ上寢就ク。

三月十三日 木曜日 温度 カ 四十度
セ 七五度 曇 寒風

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時十二時 産業組合 清水及衛氏

実習、午后一時ヨリ農場二行キテ然して床ヲツクルコト

ヲ見、実地ニ行ひ其他耕耘及温床周囲藁囲ひナシ

タリ。六時頃夕食せり。

礼拝、午後九時礼拝シテ寢就ク。

三月十四日 金曜日 温度 カ 四十二度
セ 七六度 晴 少々曇り

起床、午前五時半起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時十時 産業組合 清水及衛氏、同 自十

時至十二時 自治制度 大麻理事官、午后三時マ
デ 産業組合 清水及衛氏。

茶話会、午後六時ヨリ図書室ニ於テ茶話会ヲ開ク。加藤

先生の青年弱点ニ関スル心得ト題シテ実験談等、
且又清水先生ヨリハ前科三犯ノ悪人を改□〔原字
はりっしんべんに「舜」、俊〕せしめて模範人と
ナセル話し等なし被下、実に愉快に心にピンピン
トひゞき入りたり。

感想、加藤所長よりの話を承りて、実に現代の青年の過
半数は此ノ色情かぶれて居る。實際此の心の情に
入る前、各種種の美人絵葉書等持ち居るは、此の
情に入ル端緒かと思ふ。故に、此の寮内にも居る
様である。此れ早々止しのが良策かと思はれる。
他にも及ぼす事重且大なり。

三月十五日 土曜日 温度^カ三十八度 曇雨少雪

参拝、午前八時ヨリ職員生徒一同県社靖国神社へ参拝ス。

実ニ参拝セル時ノ心中神ニ帰一シ居ル之ノ精神、
瞬間ニ於テモ忘レナカタナラバ何事かならざら

んと思ひ深く心にひそみしかと思はれる。

学科、十二時半マデ産業組合 清水及衛氏。

見送、清水及衛先生ハ今夕六時二十分ノ汽車デ御帰国遊
バサレルニ付、一同停車場マデ見送して、所長發
言ノ下ニ謹ンデ陛下ノ下ニ清水先生弥栄ヲ三奏シ、
然して先生ヲ見送りせり。八時帰所せり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

本日県会議事堂ニ於テ而定期講演会有ル付数名聴講
シ行キタリ。

三月十六日 日曜日 温度^カ二十四度 朝少雪後晴天

本今朝ヨリ休^カ柔道等ナセリ。

出向ひ、午後六時二十分ノ汽車で山田先生御来所下サレ
タル付キ〔ママ〕一同停車場マデ御出向ひ行キタ
リ。

礼拝、午后九時礼拝ヲナシテ寝就ク。

三月十七日 月曜日 温度^カ三十八度 晴天

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。他武道。

本朝始メテ山田先生ヨリ武道（剣道）ノ精神及之

レヲ致シ時ノ心得、其ノ他ノ注意に付習フタリ。

学科、午前八時自十時至 農村経営 加藤所長、同 自

十時至十二時 行政 矢幅先生。

武道、午後一時三十分より武道をなせり。山田先生より

精眠、上段、切込ミ、打込ミノ時ノ最上ノ注意等、

教授サル。尚山田先生と所長と対して剣道をした。

実に宇宙ヲ一呑ミ致シ様ナ元氣アル。しかモ油断

のなきには実に百目をして恐かしめた。実に快々

デアッタ。〔罫線の上部余白に「切り込ミトハ何

の意味ゾ 打込トハ峯打ヲ食ハスニヤ」の書き込

みあり。〕

本日武道ノ時山田先生ノ門弟関海軍少佐殿来所ナサレ撃

剣等教ヘ行カレ申した。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寝就く。

三月十八日 火曜日 温度^カ四十二度^セ 晴

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。他ハ武道。

学科、午前八時—十時マデ 農村経営 所長、十二時マ

デ 長期旅行ノ日程及注意等ノ話。

実習、二、四組実習、五人ハ苗床ニ土入、他畑耕耘。

大掃除、三、壱組ハ大掃除ヲナシテ武道をなせり。

武道、実に山田先生ノ武道は真に恐ひた。我々もかの様

に心を定めて気、剣、体、一致すべく努力し、且

練習を致すべく肝要なり。〔罫線の上部余白に

「噫!!!偉なる哉、君が心理、サプライム（ママ）

な君がハート、□□〔私娼?〕せよ」の書き込み

あり。〕

三月十九日 水曜日 温度^カ四十五度^セ 曇降雨

学科、午前八時ヨリ十時マデ 農村経営 加藤所長、同

十二時マデ 武道ノ話 山田先生、午後一時半ヨ

リ三時マデ 物理ノ話 阿部良夫先生。

来校者、東京早稲田大学教授阿部良夫氏来校下サレテ然

シテ又午後一時三十分ヨリ物理学ニ就キテ御話シ

ナシ下サレタリ。

茶話会、午後六時ヨリ図書室ニ於而臨時茶話会ヲ開ク。

山田先生ノ武士ノ話、活々シテ然かも心ノアル手

油ヲ出ル様ナ話シニハ、実に愉快デアッタ。次に阿部先生ハ日本人としてノ心得即チ将来に対シテ心得等有益ナル講話等ナシ下サレ実に有為に十時散解せり。直ちに礼拝シテ就寝ク。

三月二十日 水曜日 温度^カ_{三十四}度 朝曇後晴天

起床、朝六時ニ起床シテ然シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ十時マデ 農村経営 加藤所長、十二時

マデ 物理ノ話 阿部良夫先生、午后三時マデ

物理ノ話 阿部先生。

礼拝、后九時礼拝ノ上就寝ク。

三月二十一日 金曜日 温度^カ_{三十八度}_七_{四度} 晴天

起床、朝五時起床シテ然シテ各当番任務ニ就ク。

旅行、午前七時三十分ヨリ一行十七名山寺旅行ニ出發セ

り。他ハ帰宅せり。各村落を通りて無事山寺ニ着

シ、時十一時ナリ。直ちに山寺（即チ日本ノ風影

〔風景〕地、否奇形地山）に登山ス。先づ立石寺

ヲ見テ段々上昇ス。各奇形地及寺々に參詣シ、特

に山中ノ有名ナル宝物ヤ胎内クグリ天狗岩及自覺大師ノ支那ヨリモテ来る、香火等をの靈幽を見テ下山ス。然シテ山寺ホテルニ行き昼食シテ山田先生より平山先生の事蹟等を聞きて人目を裂きたり。実に愉快に山では心を延シ話では心を引きしめ、実に有益に四時に帰所に就キタリ。帰宅してより炊事をなして、然して夜は九時礼拝をなしてくたびれにぐうぐう寝就ク。

三月二十二日 土曜日 温度^カ_{四十八}_七_{九度} 晴

起床、午前五時起床シテ然して各当番任務ニ就ク。本日

ハ春季皇靈祭に付休日。余剩力調査委員打合せ會、

図書室ニテ開ク。十七名ナリ。十三名程寮に宿し

たり。

三月二十三日 日曜日 温度^カ_{三十六}_七_{二度} 晴

起床、五時に起床シテ各当番任務ニ就ク。

食事、朝礼ノ際卒業生と共に弥栄三奏せり。勞力余剩調

査委員会は本日を以而終結す。少々の人ハ自治寮

に泊せり。兼ねて帰宅せる講習生は本日帰所せり。
礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

三月二十四日 月曜日 温度^カ_七^{四十度}_{五度} 晴

学科、午前自八時至十時 農村経営 加藤所長。
大掃除、午前中は大掃除ヲナシテ然シテ後、図書整理ヲ

行ひ図書かりる人は借用シテ後図書ヲ閉ジテ出入
ヲ禁ジタリ。之レ本日より養鶏講習会会〔ママ〕
をして居ル故ナリ。

実習、午後一時ヨリ農場にて茄子及南瓜ノ苗床ニ播種せ
り。尚畑耕耘等行ひたり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上ニ就寝ク。

三月二十五日 火曜日 温度^カ_七^{五十度}_{拾度} 晴天

学科、午前九時半ヨリ養鶏講習会ヲ開ク。然して養鶏ニ
関スル智識技能ヲ了得シる目的ナリ。然して農家
ノ副業トシテ実現行スルナリ。

講師、愛知県。

来場者、約百名程ありたり。県農会役員始メ各都市町村

より来講サレタリ。

茶話会、午後六時ヨリ道場ニ於而茶話会ヲ開会ス。高橋
先生より鶏に關スル諸種に付話し被下タリ。大江
氏の鶏ニ対スル成功談等開〔聞〕キ非常ニ有益且
面白かりき、九時散解、直礼拝ノ上寝ニ就ク。

三月二十六日 水曜日 温度^カ_七^{三十四度}_{二度} 大吹雪

学科、午前八時ヨリ九時マデ 林学大意 立岩林務課、
九時ヨリ十二時マデ養鶏 高橋先生、后モ養鶏三
時で 高橋先生。

所感、高橋先生ヲ〔約二字分空き〕スルニアラザレドモ
先生は全ク鶏ヨ〔ママ〕生レタ様ナ人デ、一話
ススルコトハ皆頭にぴんぴんと入る様だ。実験談
と学理とを応用スルモノナレバ実ニ左様ナモノゾ
アルカナト感腹〔感服〕ノ至リデア。本日ノ講
習ニ来講せる者総ジテ百余名と見えたり。之レ又
盛会ナリ。聞く人眠〔眼〕ヲ円ク耳ヲソバタテ乍
らNoteに筆記し、剩へ土産となして後日実現し
様との顔色見えたり。

三月二十七日 木曜日 温度^カ三十六度^セ 雪午后晴

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、八時ヨリ九時マデ 経済学 加藤所長

講習、午前九時半ヨリ午后四時半マデ養鶏講習会中ニ付

高橋先生ノ養鶏ノ話を聞キタリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

三月二十八日 金曜日 温度^カ四十度^セ 降雨降雪

朝礼、朝七時朝礼ヲナシタリ。然シテ天皇陛下弥栄三奏

せり。

武道、午前八時ヨリ九時マデ武道。

講習会、九時ヨリ午后二時半マデ養鶏講習会ヲ受ク。

武道、午后五時半マデ武道ヲナシタリシテ、山田先生は

卒業生二三名と撃劔ヲ教へ下サレタリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲナシ直ちに寝に就ク。

三月二十九日 土曜日 温度^カ四十二度^セ 曇 晴

起床、午前五時三十分起床シテ各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ伊佐早先生来講下サレ論語ノ講義ヲ

成シ下被タリ。実ニ伊佐早先生ハ米沢ノ藩ノ人ノ

事ナレバ、遠ク上杉公時代ヨリノ儒者ノ事ナレバ、

実ニ至誠ヲ以テ御講義下サレタルニ付、一一頭ニ

ピンピンと感じ、之ヨリ本日ヨリ本論ノ講義ヲナ

シ下サレタリ。尚論語ヲ学ぶニ付、学ふ様習ふ様

等ノ注意被下心ニ沁ム。

講習会、拾壹時ヨリ十二時マデ養鶏講習会ニ出す受講ス。

尚一時ヨリ三時マデ同上。三時ヨリ中学校寄宿舎

炊事部にて飼ひ居タル鶏ニ全員実地見学行キタリ。

然シテ高橋先生より産卵鶏ノ見方及病氣ノ見方等

一々実物ニ就学タリ。

礼拝、午后九時礼拝ノ上寝就ク。

三月三十日 日曜日 温度^カ三十四度^セ 晴西風後雪

武道、午前九時マデ起床、後武道ヲナス。

講習会、午前九時半ヨリ養鶏講習会ヲ受ク。十二時ヲ以テ

今回ノ養鶏講習ヲ終結ス。

授与式、午后一時ヨリ講堂ニ於而第壹回養鶏講習会修得

証授与式ヲ挙行ス。佐々木内務所長之レヲ掌理ス。

來賓、大麻理事官、長田農事試験場長、会長、講習生六

十九名ニ対修得証ヲ授与ス。高橋講師、講習生ニ対スル希望ヲ述べラレタリ。講習生総代高橋熊治郎君ノ答辭、以上。次ニ県農会ヨリ講習生一同ニ茶菓等下サレタリ。講習生ハ五日間ノ鶏ノ智識及修得証ヲ得テ唯一ノ土産としてにこに顔で帰宅せり。

食事、本夕山田先生及ビ卒業生來講被下居るに付、餅の馳走アリタリ。今期講習始メテノ事ナレバ、皆結構結構と満腹すたり。愉快愉快。

注意、午后六時半ヨリ所長室ニ一同集合シテ所長ヨリ本日又一名寒冒發生致シタレバ他ノ人は油断セズ自重する事。又本日午後一時頃より市内西方ニ放テ発火致シタレバ一同アレヨアレヨと騒ぎ廻リタレバ、今后ニ於而左様ナ事デハ武道ノ甲斐ナシト申サレ、何分大盤石崩れ來タリトモ、隣家発火シタリトモ、良ク事ヲワキマエ下腹ニ力ヲ入レテ騒ヌ様ト今後ノ注意アリタリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒテ然シテ寢就ク。

三月三十一日 月曜日 温度^カ_七度^カ_{十二} 降雪後晴

起床、朝五時起床シテ各当番任務ニ就ク。

武道、午前八時ヨリ十二時マデ道場ニ一同集合シテ山田先生及加藤先生より精神修養ノ話及寒冒ニ罹リタル時ノ薬ノ製法、火事等出タ時心ノ持チ方等、一々有益ナル然かも御実験談ノ事ナレバ心ニ一々沁ム。午后一時ヨリ各人山田先生ノ指示ニ依リ仕太刀及打太刀等交代シテヤリタリ。

礼拝、午后九時礼拝ノ上寝ニ就ク。

四月一日 火曜日 温度^カ_七度^カ_{十三} 晴後曇 村井

起床、朝五時当番任務ニ就ク。

武道、山田先生、武道ニ関スル批評アリ。

神社参拝、午前八時県社靖国神社ニ参拝ス。

武道、午前中武道。

大掃除、午後大掃除。

礼拝、午后九時礼拝。

四月二日 水曜日 温度^カ_七度^カ_五 雨後雪 村井

起床、五時、当番八例ニ依ツテ例ノ如シ。

午前九時加藤所長庄内方面へ出張。同、十二時井上教師

帰所。昼食事前武道、有志ノモノ。

礼拝、午後九時。

礼拝、午后十時十一分。

四月五日 土曜日 温度 降雨晴

学科、午前八時ヨリ十二時マデ山田先生ノ武道ノ歴史ノ

話。午後ヨリ休ミ。

四月三日 木曜日 温度^カ_七^{四十二}_六度 晴

起床、五時、当番八例ノ如シ。

九時ヨリ十二時迄有志武道。

礼拝、午后九時。

午后十時、加藤所長帰所。

見送り、山田先生ニハ午後六時ノ汽車にて御帰宅遊被た

るニ付、講習生一同停車場迄見送をなして列車発

車と共に山田先生弥栄を奏シテ送別となしたり。

礼拝、午後九時礼拝を行ひ寝就く。

四月四日 金曜日 温度^カ_七^{四五}_五度 晴

起床、五時当番、各任務ニ就く。

午前八時ヨリ十一時迄山田先生ノ講話。本日午前

中東村山郡成生村ノ青年会員来ル。午前十一時ヨ

リ武道。午後武道。

午後七時ヨリ山田先生ノ送別会ヲ開ク。先生ノ有

益ナル御話有リ。精神ノ集中ト云フ題ニテ得ル所

少カラズ。午後十時十分閉会。

四月六日 日曜日 温度^カ_七^{五十}_十度 晴 曇

起床、午前五時起床シテ各当番任務ニ就ク。労力調査委

員は昨日ヨリ打合せ会ヲ開キ本日一日真面目ニ整

理ニ取り罹リ居レリ。

礼拝、午後九時礼拝を行ひ寝就く。

四月七日 月曜日 温度^カ_七^{五十五}_七度 晴天

起床、朝五時ニ起床シテ各当番任務ニ就キ尚武道を行ひ

たり。

学科、午前八時ヨリ十時マデ自治制度 大麻理事官、同

十時ヨリ十二時まで経済 加藤所長。

実習、午後一時ヨリ実習ヲ行フ。麦追肥、麦及豌豆ノ播

種、果樹施肥、麦の除草等行ひたり。五時終る。

礼拝、午後九時礼拝を行ヒ寝就く。

山田先生より安着の手紙を下された。

四月八日 火曜日 温度カカ五十度 少雨後晴天

学科、午前八時ヨリ十時マデ 農村経営 加藤所長、十

時ヨリ十二時半マデ 経済 加藤所長。

実習、午後一時ヨリ四時半マデ実習ヲナシタリ。半数打

起ス。他ノ半数は牛肥運搬。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寝就く。

四月九日 水曜日 温度カカ四十五度 晴

起床、五時半起床シタ。数々と実習を始メタルニ疲労致

シタル結果か起床方定刻ヨリ遅レテ来タ。

学科、午前八時ヨリ経済 加藤所長。十二時マデ旅行ノ

話し 加藤所長。午後一時ヨリ師範学校ニ於而唱

歌ヲ習フ。

大掃除、三時頃より大掃除ヲ行フ、後休ミ。

食事の注意、本日四時夕食ヲナシタルニ所長ヨリ今時間

ヲ早ク食ニシレバ、夕方マデ空腹ヲ感ズル恐レア

リ。且又余分ノ金銭を消□〔費?〕しる恐アリ。

故ニ炊事当番ハ良敷ク氣ヲ付ケテ食事ヲナス様ニ

注意アリタリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寝ニ就ク。

四月十日 木曜日 温度カカ四十五度 曇後晴

実習、午前九時頃より十二時マデ実習ヲナス。杉及扁柏

〔ヒノキ〕一年生苗木替ヲナシ、且杉種子播付ス

ル。床ノ地拵ヲナシタリ。実習ノ最中十一時頃よ

リ降雨とナリテ下腹ニ力ヲ入乍ラ忍耐〔忍耐〕ヲ

致シツ、床替ヲせり。然シ乍ラ無風曇天ニシテ少

雨ナレバ移植ニ好適當デ有タ。午後一時半ヨリハ

旅行ノ話、加藤所長。

武道、放課後直チニ柔道ヲナシタリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

四月十一日 金曜日 温度^カ_{七十五度} 降雨少々曇り

学科、午前八時ヨリ十二時まで、肥料土壌二時間 井上

先生。経済二時間 加藤所長。

実習、午后一時ヨリ昨日床捲へ致置キタル所ニ杉及扁柏

ノ播種を実習せり。県林業技手福岡茂三郎先生。

茶話会、午後六時ヨリ図書室ニ於而茶話会ヲ開く。加藤

所長ヨリ種々ノ本ニツキテノ御話シ及登山ニ就キ

テノ御話等成シ下サレタリ。非常ニ有益且愉快デ

アツタ。九時半閉会ス。本日茶話会ニ船越先生ヨ

リ過分ノ茶菓を一同ニ下サレ実ニ有難く頂戴シテ

嬉しく御馳走様ニナリマシタ。

四月十二日 土曜日 温度^カ_{四十五度} 雪後晴雨

学科、午前八時ヨリ十二時マデ論語読解 加藤所長。十

時頃ヨリ吉田松陰先生ノ松下村熟〔塾〕ニ揚ゲラ

レタル士規七則ノ漢文ノ読解ノ試験等アリタリ。

実ニ此レニハ頭ヲ煩スタ。読方講義ト云ヒ意味深

重ニシテ奥深くして非常ニ考フル所有リタリ。午

后ヨリ休ミ、九時礼拝ス。

四月十三日 日曜日 温度^カ_{四十五度} 曇り後晴

午前ヨリ自由散歩行ク者多かりキ。尚師範中学生数名友

人ヲ訪問ノ為来所。

礼拝せり、午后九時礼拝ヲ行ひ寝ニ就く。

委員会、礼拝後所長室ニ集合シテ秋田旅行順序及日程等

相談ヲナシタリ。

四月十四日 月曜日 温度^カ_{四十九度} 晴

起床、午前五時半起床シテ各各当番任務ニ就ク。

学科、午前八時ヨリ十時マデ 経済 加藤所長、十時ヨ

リ十二時マデ本日裁判所ニテハ殺人訟判アリ。故

ニ之レノ傍聴行ク事願ひたるに許可下サレズ、之

レニ対ステの説諭方々注意被下タリ。尚 God

Sanノ面白キ、且トルストイノ表想ノ觀念ノア

ル話ヲナシ下サレタク、後后ヨリハ実習ヲナシタ

リ。食事、本日井上先生ニハ将校任官ナサレタルニ付、ソノ

祝トシテ夕食ノ時多大ナル珍珠魚ヲ御馳走ナシ下

サレタリ近頃まれなる珍珠デ有ツタ。

礼拝、午後九時礼拝ヲナシテ寝ニ就く。

四月十五日 火曜日 温度^{カ六十}_{セ十六}度 晴後大雨

参拝、午前八時ヨリ県社靖国神社へ参拝ス。

学科、八時三十分ヨリ十時マデ農村経営 加藤所長、十

二時まで県下ノ産業 長田農務課長。

実習、後一時ヨリ下肥運搬及桑畑施肥、便所移転□トノ

実習ヲナス。県会議事堂ニ於て定期講演会アリタ

ルニ付き、数名聞き行ク者アリタリ。他は勉強し

つ、あり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寝ニ就く。

四月十六日 水曜日 温度^{カ四十九}_{セ九}度 晴

学科、八時ヨリ十時マデ 肥料 井上先生、十二時マデ

県下ノ林業 立岩林務課。午后より師範学校ニ於

て唱歌を習フタリ。

大掃除、本日二時より講内全部各組分して大掃除ヲ行フ、

後休ミ。

学科、午後八時ヨリ九時マテ土壤 井上先生。

礼拝 九時礼拝ヲナシタリ。

四月十七日 木曜日 温度^{カ五十}_{セ十七}度 晴曇り

学科、午前八時ヨリ十時マデ農村経営 加藤所長。十時

ヨリ十二時マデ産業組合 村松先生。

実習、午後一時ヨリ馬鈴薯播種ヲ実習せり。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寝ニ就く。

四月十八日 金曜日 温度^{カ四十五}_{セ七}度 曇後晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ 肥料 井上先生、十二時

マデ 農村経営 加藤先生。

実習、午後一時ヨリ五時マデ実習せり 桑ノ施肥ヲ行へ

り。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

四月十九日 土曜日 温度^{カ四十八}_{セ九}度 晴後雨

学科、午前八時ヨリ十時マデ 論語ノ講義 所長。

実習、十一時昼食ヲナステ実習畑ニ行ク。本日半数ノ余

帰宅せり。実習ニ行キシハ僅ニ八名ノミテ有ツタ。

蒸し暑キニモカ、ワラズ一□〔破れによる欠〕懸

命ニ陸稲及夏蕪菁及大根等播種シテ後ニ麦ニ追肥

ヲ行ヒ且中耕ヲナセリ。中耕終ラザル中ニ五時頃

ヨリ大暴風雨ト化シテ実習ヲナス事能ハズ。直チ

ニヤメテ帰所セリ。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ就寝ク。

大掃除、本日三時より講内全部大掃除を行ふ。

礼拝、午後八時半礼拝を行ふ。

四月二十三日 水曜日 温度カ五十八度
セ七十六度 晴 (斉藤)

午前七時半頃より一時間程水耕法の薬液調製に費した。

学課、法制経済 自一時半至十時 卜部理事官、林学大

意 自十時至十一時半 立岩講師。

実習、午後実習。

礼拝、午後九時礼拝を行ふ。

四月二十日 日曜日 温度カ五十二度
セ十四度 晴 (三上)

礼拝、午後九時礼拝を行ヒ就寝ク。

四月二十一日 月曜日 温度華六十度
摂二十度 快晴

学課、経済 八—十 加藤所長。行政十一—十二 矢幅警

視、午后 唱歌(於師範学校) 一—二、渡辺教諭。

実習、桑ノ植付ケ。

四月二十四日 木曜日 温度カ 晴後風 斉藤

学課、植物 自八時十時迄 加藤所長、植物の花粉、葉

緑素を顕微鏡にて見る。

実習、午後実習。

茶話会、清水先生の御寄りを機とし官舎に於て茶話会を

開く。十時閉り。

礼拝、十時官舎に於て礼拝を行ふ。

四月二十二日 火曜日 温度カ五十八度
セ十六度 曇り雨 (斉藤)

学課、植物 自八時至十時 加藤所長、県下乃産業 自

十時至十二時 長田場長、肥料 自一時至三時

井上先生。

四月二十五日 金曜日 晴

起床、午前五時起床シテ然シテ各当番任務ニ就ク。

学科、植物生理 加藤所長、後直チニ実習、昼食は炊事

当番ハ仕度ヲナシテ実習地ヘ持行キテ食ヲナス。

礼拝、午后九時礼拝ヲナシテ寢就ク。

四月二十六日 土曜日 晴

実習、午前八時ヨリ十二時マデ実習ヲナス。後休ミ、自

由散歩。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ひ寢就ク。

四月二十七日 日曜日 温度 カ 五十度
セ 十度 晴

本日ハ日曜日ノ事ナレバ朝ヨリ休ミニテ然シテ明

二十八日秋田旅行出發ノ順〔準〕備ヲ整エタリ。

加藤所長及井上先生、江坂書記ハ朝ヨリ晩マデ実

習ヲ行被下タリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ所長ヨリ旅行ノ時ノ諸〔約一

字分空き〕□〔披？〕ノ注意有リたり。然して後

就寢ク。

四月廿八日 月曜日 温度 フ 五十一度
セ 十二度 晴后雷雨后晴 江坂

四時半ノ起床宿樂セル秋田旅行出發ヲ眼前ニ扣ヘ

テノ事ナレバ、一同新〔ママ〕ラカジメ組マレシ

番組ニヨリ自治寮内ノ大掃除ヲナス。六時健児二

十四名米一升握飯一個ニ靴穿キ、或ハ草鞋ノ出デ

立チニテ出發。六時五十七分今日ノ宿り大曲方面

ヘト去ル。丹内君帰省ス。井上先生及平野君ハ農

場実習午後一時頃リ〔ママ〕砂塵煙散雷雨トナル。

廣野君六時ノ汽車ニテ一行ノ後ヲ迎ル。夕方入浴

外出ノタメ阿部氏ニ依託セリ。

礼拝、午后九時

四月廿九日 火曜日 温度 フ 五十六度
セ 十四度 晴 江坂

井上先生朝カラ農場実習、午后式時西村山郡視学

大森豊雄氏來所セラル。

礼拝、午後九時。

四月卅日 水曜日 温度 フ 五十九度
セ 十五度 晴后曇 江坂

午前八時ヨリ重箱弁当ニテ農場実習、桑ノ剪定ヲ

ナス。四時帰所セリ。留守番ニ阿部氏ヲ頼メリ。
礼拝、午後八時半

五月一日 木曜日 温度^F六十六度
^C十九度 曇晴后曇 江坂

午前中ハ雲低ク雨ニデモナリサウナ天気故、農場
実習ヲ見合セ午后晴天トナリシタメ井上先生農場
行キ。

五月二日 金曜日 温度^F六十四度
^C一八度 曇 江坂

照リモセズ晴サウニモナラズ、生タルキ南風サヘ
吹キ、気味悪キ日、井上先生午前中ハ農場ノ実習。
正午秋田県仙北郡小学校訓導二人当所ノ内容ニツ
キ研究セムトシ来所セラレシガ、相悪ク〔生憎〕
ノ留守中ニテ解答不充分ニツキ印刷物一部ヅ、ヲ
指出セリ。夕方ヨリ少雨来ル。六時卅四分、一同
元氣満面帰所セリ。

礼拝、午後八時

五月三日 土曜日 温度^F五四度
^C一三度 雨 丹内

降ツタリ晴レタリ心地悪シキ天気ナリ。起床モ六
時ニテ数日ノツカレヲ直シタリ。今日小人数ノ為
学課ナシ。

礼拝、午後九時礼拝ス。

五月四日 日曜日 温度^F六十度
^C十五度 朝雨後晴

朝来風雨裂〔烈〕しかりき。本日も日曜日ニ付キ
自由行動。師範ノ運動会へ見行者モ有リ。帰所セ
る者モ有リ。種々雑多で有った。

礼拝、午後九時礼拝ス。

五月五日 月曜日 晴

学科、午前八時ヨリ九時マデ 肥料 井上先生、同九時
ヨリ十二時マデ 行政 矢副〔幅〕所長。

大掃除、午后ヨリ大掃除ヲナス。

実習、直チニ実習畑ニ於而、馬鈴薯時キ及桑畑施肥等行
ヒて五時半頃放課セリ。

礼拝、午后九時。

熊本県農事試験場員、視察ノ為午后一時頃来所セ

ラル。

五月六日 火曜日 温度^F六十度
^C十五度 晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ行政 矢副〔幅〕警視、十

時ヨリ十二時マデ園芸 井芹先生。

参拝、本日ハ県社靖国神社ノ祭礼ニ付キ午后一時ヨリ一

同参拝ス。後休ミ。

相談会、午后六時半ヨリ一同武道場ニ於而船越先生及び

井上先生ヨリ種々の注意有り。且未青年〔成年〕

者にして吞煙スルト云フ法ナキ為メ、学校にては

禁煙スル事ニ相談したり。尚ソノ外種々の事ニ付

キ互ニ注意シ合ヒタリ。

礼拝、午后九時。

五月七日 水曜日 温度^F五十七度
^C十参度五分 晴

起床、本日は御青年式挙行ノ当日ナレバ起床後直チニ一、

二組ハ講内大掃除ヲナシ、三組ハ外大掃除、四組

炊事場一切ノ大掃除ヲナシタリ。

御祝式、七時ヨリ講堂ニ於而御青年式祝式ヲ挙行ス。式

順ハ礼拝ヲナシ次ニ君が代再唱シタリ。本日は式
挙行後御祝ノ為メニ休日。

礼拝、午后九時

五月八日 木曜日 温度^F五十度
^C十度 曇雨曇晴

起床、五時起床シテ然シテ二四組ハ武道ヲシタリ。

学科、午前八時ヨリ十時マデ肥料 井上先生、十時ヨリ

十二時マデ県下ノ林業 立岩先生、午后一時ヨリ

三時マデ稲作 鈴木技師。

実習、本日ハ午后四時ヨリ杉苗床ノ除草及麦畑苗床等ノ

除草並ビニ桑植立ヲナシタリ。六時放課。

礼拝、夕食后八時ヨリ黙読ヲナシ午后九時礼拝ヲナス

リ。

五月九日 金曜日 温度^F五十四度
^C十三度 晴

学科、午前八時ヨリ九時マテ肥料 井上先生、十一時マ

デ 自治法制 大麻理事官、〇時半マデ 新潟県

〔数文字分空き〕、来所シテ図書室ニ於而呼吸法ノ

話シヲ聞ク。

実習、尅時ヨリ六時マテ麦ノ除草及中耕、菊植換へ等、
実習シ来たり。

茶話会、午后七時ヨリ図書室ニ於而茶話会ヲ開ク。所長

ヨリ上京中ノ話ヲ聞キタリ。

五月十日 土曜日 温度カ六十度セ十六度 晴

学科、午前八時ヨリ十一時マテ論語読解詩吟 加藤所長。

実習、午后一時ヨリ有志ノ者、生徒四名先生三名ト共ニ

陸稻播種及桑剪定ヲナシ七時月照を頂キ乍ラ帰レ

リ。蒸暑き中ニモ労働者神聖ナリテ非常ニ愉快ヲ

感じ乍ラ帰レリ。加藤先生ヨリ菓子、船越先生ヨ

リハ餅等を御馳走サレ、

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ寢就ク。

五月十一日 日曜日 温度F四十九度C九度 雨

自由ニ散歩スルモ有、且勉強シルモ有リタリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行フ。

五月十二日 月曜日 温度カ五十度セ十度 晴

学科、午前八時ヨリ三十分間位イ 植物 加藤所長、十

時マテ自治制度 大麻理事官、十二時マテ自治行

政 矢巾巡查教習所長。

午后、一時ヨリ師範学校ニ於而唱歌ヲ習フ。

大掃除、各組別手分シテ大掃除ヲ行フ。

実習、掃除後直チニ実習セリ。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ寢ニ就ク。

五月十三日 火曜日 温度カ五十二度セ十二度 少雨曇晴

学科、午前八時ヨリ十時マテ植物生理 加藤所長、十時

ヨリ十二時マテ園芸 井芹技師。

実習、午后一時ヨリ六時マテ実習ヲ行フ。

来所者、北海道理事官 土屋(約一字分空き) 殿来所ナ

サレテ視察セラル。

礼拝、午后九時ニ礼拝ヲ行ヒ寢ニ就ク。

来所者、石川県属 米村宇一殿来所セラル。

五月十四日 水曜日 温度F四十五度C七度 晴風

起床、朝五時ヨリ起床シテ武道ヲナス。

学科、午前八時ヨリ十時マデ 経済 加藤所長、十時ヨ

リ十二時マデ 林学大意 立岩技師。

実習、午後一時ヨリ実習ヲナシタリ。道路除草及桑畑耕

耘並ビニ堆肥切返等ナシタリ。

来所者、午後二時頃文部省主催、視学団一行二十名来所

シ然して講内巡視シ、且様々に付キ視察しゆかれ
たり。

礼拝、午後九時礼拝ヲ行ヒ寝ニ就ク。

五月十五日 木曜日 温度 カ 四十度
セ 五度 曇 大雨

神社参拝、午前八時ヨリ村社熊野神社へ参拝ス。雨降る

中ニ参拝終リシ後、熊野社神ノ祭りシ神即チ伊佐

那岐伊佐那美ノ命ニ付御話シテ所長ヨリ賜リ九時

婦所せり。

学科、午前九時ヨリ十一時マデ 植物生理 加藤所長、

十二時半頃マデ産業組合 村松産業主事補。午后

ヨリハ植物澱粉及葉ノ構造等顕微鏡ニテ見ル。尚

種々ノ事に付教ハル。

武道、四時頃まで武道ヲナシタリ。

礼拝、午後九時礼拝ステ後寝就ク。

本日ハ県会議事堂ニ於而第廿回定期講演会開会致
サレタルニ付キテ、午後七時ヨリ数名聴講シ行キ
タリ。

五月十六日 金曜日 曇後晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ地方自治、長沢先生、十時

自十二時至 肥料 井上先生、午后三時マデ 産

業組合 村松主事補。

実習、午後五時マデ杉苗圃へ日覆ヲナシタリ。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝。

五月十八日 土曜日 温度 カ 五十度
セ 十度 晴

視学、午前七時三十分ヨリ一行二十三名、井上先生引率

ノモトニ煙草専売局ヲ見学す。実ニ分業ノ力ノ偉

大ナルコトヲ感ジ来タリ。且機械ノ精巧ナルニテ

ドロキ入ツタ。十時ヨリ測候所ニ行キ諸種ノ観測

器ヲ見、且説明ヲ承り来タレリ。非常ニ有益且愉

快デアツタ。

実習、午后一時ヨリ五時マデ実習ス。南瓜ノ移植ヲ行ヒ
タリ。

礼拝、午后九時礼拝ノ寢就ク。

五月十九日 日曜日 晴

本日八日曜日ニ付キ自由故ニ帰宅及登山スル者数
十名アリタリ。帰宅者午后ニ於而大体帰所す。

礼拝、午后九時礼拝ヲナシテ寢就ク。兼テ所長西村山
郡へ出張中ノ所本日午後四時頃帰所ナサレマシタ。

五月二十日 月曜日 温度^カ_{五十度}^セ_{七十度} 晴曇大風雨

学科、午前八時ヨリ十二時マデ植物生理 加藤所長、午
后一時ヨリ唱歌を習ふ。本日は已習歌を如何とか
一ツ宛独唱ノ致したり。

大掃除、定例に依リテ大掃除ヲナシタリ。後自由ニ勉強
せる。

礼拝、八時—九時黙読して後、直ニ礼拝を行ヒ就寝ク。

本日午前十時ヨリ米沢市大火と聞ク。

委員会、午后七時ヨリ事務室ニ委員集合シテ長期旅行ノ

旅行致すべき地、且日程等一々打合ヲナシタリ。

五月二十日 火曜日 温度^フ_{四十八度}^セ_{九度} 晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ 経済 加藤所長、十時ヨ
リ十二時マデ桑樹栽培 高村技師、午后一時ヨリ
梨瓜播種及桑畑耕耘葱除草追肥中耕土寄せ等せり、
六時帰所。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行ヒ寢就ク。

五月二十一日 水曜日 温度^フ_{四十三度}^セ_{六度} 雨曇晴

学科、八時三十分ヨリ十時マデ肥料 井上先生、十二時
マデ植物生理 加藤所長。
茶話会、午后ヨリ図書室ニ於而茶話会ヲ開ク。

余興、第一、腕角力 組分シテ致せる 三、四組ノ勝。

第二、下角力 同 一、二組ノ勝。第三ニハ連歌

(短歌) ヲナシタリ。非常ニヨク連リタルモノアリ。然シテ非常好趣味ヲ得タリ。

五月二十二日 木曜日 温度^カ_{四十八度}^セ_{九度} 曇雨

学科、午前八時ヨリ十二時マデ桑樹栽培 高村技師、午

后一時ヨリ三時マデ産業組合 村松産業主事補。

武道、四時マデ有志ノ者武道ヲナス。

礼拝、午后九時礼拝ヲ行イテ寝ニ就ク。

モアリ。且勉強シルモ有り。

来所者、友人ヲ訪問スル為メ師範生及軍人等来所ス。

礼拝ヲ午后九時ス。所長ヨリ此の後一生懸命勉強

シ且修養する様にと注意ありたり。

五月二十三日 金曜日 温度 カ 四十九度
セ 九度五分 曇り後晴

学科、午前七時半ヨリ八時半マデ God Sam 話 加藤

所長、八時四十分ヨリ十時マデ 肥料 井上先生、

十時ヨリ十二時マデ 桑樹栽培 高村技師。

実習、午后一時ヨリ六時マデ実習ス。

夜学、午后八時ヨリ九時半マデ経済 加藤所長。

五月二十六日 月曜日 温度 カ 四十八度
セ 九度 晴

学科、午前八時ヨリ九時マデ 肥料ノ資〔質〕問 加藤

所長、午前九時十二時 自治行政 矢巾警視。

実習、午后一時ヨリ五時半頃迄ナセリ 茄子胡瓜ノ床作

リ。除草堆肥積方等なせり。

学科、午后七時半ヨリ九時マデハ経済 加藤所長。

五月二十四日 土曜日 温度 カ 四十五度
セ 七度 晴

学科、午前十時ヨリ十二時マデ園芸 井芹技師。

參觀、午后ヨリ農事試験場桑園見学ス。

礼拝、午后九時。

五月二十七日 火曜日 温度 カ 五十度
セ 十度 晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ経済 加藤所長、十時ヨリ

十二時マデ園芸 井芹技師。

実習、午后一時ヨリ六時マデ実習ス。

礼拝、午后九時礼拝ノ上寝就ク。

五月二十五日 日曜日 温度 カ 四十七度
セ 七度 曇雨晴

起床、午前五時起床シテ武道ヲナス。食后自由散歩スル

五月二十八日 水曜日 温度 カ 四十三度
セ 六度二分 晴曇後晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ肥料 井上先生、十二時マ

デ林学大意 立岩林務課。

実習、午後一時ヨリ五時半マデ実習ス。

委員会、午後六時ヨリ七時マデ旅行ニ就キテノ相談ヲナ

セリ。

茶話会、七時ヨリ図書室ニ於テ而茶話会を聞く。五月分食

費決算報告、次に所長ヨリ旅行ノ時ノ注意等有リ

タリ。

礼拝、午後九時茶話会終リテ礼拝ヲ行ヒ就寝セリ。

五月二十九日 木曜日 温度 カ 四十五度
セ 七度 晴一時雨後晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ植物生理 加藤所長、午前

十時ヨリ十二時マデ園芸 井芹技師。

実習、午後一時ヨリ四時間実習ス。

礼拝、午後九時礼拝ノ上就寝ク。

五月卅日 金曜日 温度 カ 四十度
セ 五度 晴曇一時雨後晴

学科、午前八時ヨリ十時マデ植物生理 加藤所長、午前

十時ヨリ十二時マデ肥料 井上先生。

実習、午後二時ヨリ農事試験場試作田ニ行キ田植へ及田

ノ(クレ砕)ヲナシタリ。終りに茶菓ヲイタダキ

テ午後六時帰所セリ。

五月三十一日 土曜日 晴後降雨

学科、午前八時ヨリ十一時マデ経済 加藤所長、午後一

時ヨリ県会議事堂ニ於テ肺結核予防講話アリタリ。

故二生徒全部聴講シタリ。講師左ノ如シ、北嶋博

士、金杉博士、遠山博士、山木博士ノ四医学博士

ナリ。

六月一日 日曜日 曇後晴

参拝、午前五時起床シテ祓ヲナシ、七時食事シタリ。午

前八時ヨリ鈴川村(約二三分空き)神社ニ参拝ス。

尚御不動様参拝ノ上十一時四十分帰所。

来校者、文部省牧山視学官、卜部理事官等、其他県庁ノ

人々来訪シ寮内ヲ視察シ行カレタリ。

礼拝、午後九時ニ礼拝ノ上就寝ク。

六月二日 月曜日 温度 カ 四十度
セ 五度 晴

起床、午前五時起床シテ六時ニ食セリ。

実習、食后直ちに実習ス。茄子南瓜ノ移植、陸稻及葱ノ

除草、且又追肥等行ヘリ。十時頃ヨリ十二時過ギ

マデハ肥料学 加藤所長

茶話会、午后七時ヨリ九時マデ図書室ニ於テ茶話会ヲ開

ク。苺、及茶菓等、御馳走ハ沢山有ツテ私食シ宛

ツ〔ママ〕所長ヨリ話ヲ聞キタリ。直チニ礼拝シ

テ寝就。

六月三日 火曜日 温度 カ 四十度
セ 五度 半晴

起床、今朝ハ田植休ミデ皆帰省スルタメ朝四時前ヨリ起

キテ仕度ニ忙シキモノモ三四人見受ケラル。

実習、後に残ルベキ僕等ハ所長ト共ニ四時半ヨリ農場ニ

出デ、九時迄働キ帰リテ朝食ヲシテカラ弁当持デ

午後五時迄実習ヲ続ケタ。

聴話、午後七時頃ヨリ事務室ニテ〔数文字分空き〕氏ノ

御話ヲ聞イタ。

就寝、九時半礼拝ヲシテ就寝ス。

六月四日 水曜日 温度 カ 五十度
セ 七度 晴

起床、午前四時半起床。

実習、八時ヨリ実習ヲナシ。

五日 木曜日 温度 カ 六十度
セ 二〇度 雨後曇り

起床、午前五時起床、石渡君懐シキ故郷ヘノ帰省。昨夜

ヨリ用意怠リナク上リ一番列車ニテ細雨降ル山形

駅ヲ后ニ帰郷ノ途ニツク。

作業、宿望セシ雨ノコト、テ各自随意勉強ス。雨ノ間ニ

牧草式拾四貫刈ル。丹内君ノ特意〔得意〕ナ飯タ

キ乃至ハ舟山君一流ノ煮豆ニテ昼飯ト云ヒ夕飯ト

云ヒ、連日小ナル家庭ニハ喜ビニ満ツ。午後七時

清水先生御立寄りアリテ種々社会問題拝聴中ニハ

随分驚入ルモノモアリタリ。

六日 金曜日 温度 カ 七十度
セ 二度 晴

起床、午前五時起床、蒸暑シ。西川君、芦野君、一足違

ニ来所、渡邊君午後来所。何レモ今晚清水先生視

察談ヲユックリ受クル目的ナリシニ、午后六時御

帰郷トナリテ失望ノ体ナリキ。午后六時廿五分停車場迄送ル。渡邊君泊ス。

礼拝、午後九時半礼拝ヲ済シテ就床ス。

七日 土曜日 同じ 晴

起床、午前五時起床、前日ニ劣ラズ蒸暑シ。

渡邊君九時ノ上り列車ニテ亦一奮発スベク帰郷セラル。

作業、旅行日程大正七年度決算ニテ事務多忙ナリ。

実習、丹内君実習ニ行ク。クロバー二十九貫五百匁刈ル。

礼拝、午后九時十分済シテ就床。

八日 日曜日 温度 F_{74} C_{33} 晴

起床、午前五時起床、冷水浴モ大分気持ヨキ候トナル。

併シ時々中学校ヨリノ汚水ニハ閉口ノ至リ。午前

中ハ各自勉強ス。丹内君師範学校ノ一友ト連レ立

チ帰省ス。土田君田植モ無事終了帰舎セラル。

九日 月曜日 温度 F_{74} C_{33} 晴

起床、午前五時半ナリ。西側のクローバー三十六貫刈ル。

刈跡ノ気持ヨシ。午前中ハ備品ノ調査ヲナス。□〔折〕々遺失破損紛失セシモノアリ。丹内君令弟ヲ連レテ帰所セラル。

実習、午后一時ヨリ六時半迄努力セリ。

静岡県ヨリ校長二名視察セリ。

礼拝、九時、就床。

十日 火曜日 温度 F_{68} C_{20} 曇

起床、午前五時起床セリ。苗代休暇愈々今日一日トナツ

タ。午前八時青年団ノオーソリチー山本瀧之助氏来所、種々所長ト意見ノ交換ヲセラル。

実習、午前九時半ヨリ実習。午後五時頃ヨリポツポツ帰

舎、礼拝迄ニハ大半帰舎セラル。

礼拝、午後九時済マシテ消灯ス。

十一日 水曜日 温度 F_{64} C_{17} 曇后雨

起床、午前五時。

昨日まで寂寞タリシ自治寮モ賑カトナレリ。

学科、午前中所長ノ農学大意、午后ハ大掃除ヲナス。掃

除后ノ清潔サ心身ヲ爽快ナラシム。試験場へ溶鉱
炉ノ運搬ニハ一同閉口ノ至リ。軽ウジテ無事運搬

セリ。午后六時半ヨリ旅行日程御話ヲ図書室ニテ。

礼拝、午後九時十分、消灯。

十二日 木曜日 温度 $C \begin{smallmatrix} F \\ 一四 \\ 五九 \end{smallmatrix}$ 曇

起床、午前五時。

愈々鬱陶シキ入梅トナリタル故カ湿ツポイ陰鬱ナ
ル日ナリ。

学科、初限ハ農学大意、二限目ハ村松主事補ノ産業組合

ナリキ。

実習、午后一時ヨリ全実習時間三時間半ヲ摘桑ニ費ス。

万貫有余ノ摘桑量アリキ。午後七時ヨリ一時間経
済史ノ講義アリキ。

礼拝、午後九時、消灯。

十三日 金曜日 温度 $C \begin{smallmatrix} F \\ 一四 \\ 五七 \end{smallmatrix}$

起床、午前五時。

名ハ夏ナルニ初春ノ如キ氣候ナリ。

学科、第一限ハ土壤肥料、第二限ハ植物ナリキ。

実習、午後一時ヨリ摘桑。実習終リテヨリ旅行日程ニツ

キ委員会アリ。

礼拝、午後九時、消灯。

十四日 土曜日 温度 $C \begin{smallmatrix} F \\ 一四 \\ 五九 \end{smallmatrix}$ 晴

起床、午前五時、室内ノ清潔相変ラズ清潔ニ保タル。

学科、経済及大麻先生ノ講義アリ。

実習、午后一時ヨリ実習。

旅行日程モ漸ク印刷ノ運びニ至レリ。

礼拝、午後九時、消灯。

十五日 日曜日 温度 $C \begin{smallmatrix} F \\ 一四 \\ 五九 \end{smallmatrix}$ 度 晴

起床、午前五時(ママ)十五分。

同八時庄内地方ヨリノ壱視察団式拾五名、来所セ
シガ、之ガ本県ニ於ケル難村の覇タルモノトテ靖

国神社参拝ニ同行シ、帰所后所長ヨリノ講義乃至
ハ武道ノ実況ヲ観察、其ノ上茶菓の饗応アリシタ

メ、至極満足の体ニテ退所セリ。午后七時半ヨリ
県会議事堂ニテ通俗講演会ニテ山岳会主催幻灯会
ナリシタメ一同見物ス。此方思ヒ掛ケナキ雄弁な
弁士ノ御揃ヒニテ一同愉快ニ見物帰所セリ。
礼拝、午后九時四十分。

六月十六日 月曜日 温度 $C^{\circ} F^{\circ}$ 晴後曇り

起床、午前五時

学科、午前八時ヨリ十時 自治制度 大麻理事官、十二
時迄 自治行政 矢巾教習所長。

本日は加藤先生ヨリ（山形県ニ於テ将来地主小作間
円満ヲ欠クノ恐れ有リ。両者ノ関係ヲ□〔益?〕
シ円満ナラシムル方法如何ト云フ問題ヲ出問セラ
ル。

実習、午後ヨリ実習ス。ポルドー合濟〔劑〕製法、及葱

□□〔芽立?〕等ニ追肥土寄せヲナス。

礼拝、九時、消灯。

六月十七日 火曜日 温度 $C^{\circ} F^{\circ}$ 曇り

学科、午前八時ヨリ十時マデ植物生理 加藤所長、第二
限 肥料 井上先生、第三限 經濟 加藤所長。
実習、午后ヨリ除草及ビ甘藍定植地拵ヘヲナシタリ。
礼拝、午后九時、消灯。

六月十八日 水曜日 温度 $C^{\circ} F^{\circ}$ 晴後曇

学科、午前八時ヨリ經濟 加藤所長。

十時半ヨリ図書室ニ集合シテ加藤所長ヨリ長期旅
行ニ付キテノ各々ノ世話人ヲ定メラレ、且日程ニ
依ル視察スベキ地ヲアラカジメ各々分担シテ調べ
ルコトニステ十一時半放課せり。

実習、午后ヨリ甘藍ノ移植、陸稻ノ追肥中耕、桑園ノ手
入等実習ス。

学科、午後七時半ヨリ經濟 加藤所長。

礼拝、午后九時礼拝ノ上寢就ク。

六月十九日 木曜日 温度 $C^{\circ} F^{\circ}$ 晴曇

学科、午前限 法制經濟 卜部理事官、二限ハ自由勉
強、午後三限 植物生理 加藤所長、四限 論語

講義 伊佐早先生、五限 七時半ヨリ 肥料 井上先生。

礼拝、午後九時礼拝、有志柔道せり。

六月二十日 金曜日 温度 $F_{五十六度}$ $C_{十三度}$ 晴

学科、午前八時ヨリ肥料 井上先生、十時ヨリ十二時マ

デ財産ニ対スル道徳ト云フ事ニ付キ、地方裁判所

渡邊検事正ヨク御話ヲ承ル。

実習、午後ヨリ実習せり。茄子移植、甘藷植等。

六月二十一日 土曜日 晴

学科、一限 植物生理 加藤所長。

自由自習

六月二十二日 日曜日 曇雨風

自由自習、散歩スルモアリ

礼拝、午后九時、消灯。

六月二十三日 月曜日 温度 $F_{五十度}$ $C_{十度}$ 雨曇

学科、一限 自治制度 大麻理事官、二限 自治行政

矢幅警視、三限 古神道 加藤所長、午後七時ヨ

リ簡易生命保険ニ付、山形市三島通り郵便局長大

場殿来所被下右題目ノ下ニ御話し被下ル。

礼拝、午後九時礼拝ノ上寢就ク。

六月二十四日 火曜日 不詳 晴

学科、一限 古神道 加藤所長、二限 肥料 井上先生。

実習、除草等せり。

幻灯、午後七時ヨリ長澤地方指導来所被下、肥後ノ菊地

氏ニ付説明シナガラ撮影シ見せ被下タリ。実ニ肥

後菊地氏ノ忠臣ナルコト、且猛勇ナル方々代々左

様ナルコト深ク感ジタリ。昔人は義、忠、勇ノ固

カリシコト、又菊地氏ノ伝は幻灯ニヨリテ始メテ

明とした。

礼拝、午後十一時礼拝ノ上寢就ク。

六月二十五日 水曜日 温度 $F_{六十三度}$ $C_{十七度}$ 晴

起床、四時三十分起床シテ五時三十分ヨリ六時四十五分

マデハ農村経営 加藤所長。

食事、七時食事、朝礼ノ際

天皇陛下弥栄三奏ス。

学科、一限 古神道 加藤所長、二限 産業組合 村松

産業主事補。

実習、除草。

幻灯、午后七時ヨリ長澤先生ノ説明ニヨリ全国優良青年

団及町村幻灯アリタリ。

六月二十六日 木曜日 曇後雨

学科 一限 農村経営 加藤所長

二限 自治制度 大麻先生

実習 □〔越?〕瓜移植麦刈除草等。

六月二十七日 金曜日 晴後雨曇

学科、一限 経済史 加藤所長、二限 自治 大麻先生、

三限 経済 卜部先生。

実習、農場アラユル仕事全部シタリ。

礼拝、九時礼拝ノ上就寝ク

〔講習は七月三十一日までの筈であるが、以下は空白、理由は不明である。〕

②

〔表紙〕

大正八年八月自十一日 至二十日

第三回短期講習生 日誌簿

山形県自治講習所

〔本文〕

八月十一日〔この日は鉛筆書き〕

朝曇天ノ為七十二度内外ニテ少シク涼シカリシモ次第二

晴天トナリ気温高クナリシモ、前日ヨリハ心易カリキ。

朝五時ニ起床一同洗面ヲナシ夜具ノ取り片付ヲナシ朝飯

ヲ食ス。少シク休息シテ式場ノ整理ヲナシテ控室ニテ一

同所長ノ光来ヲ待。三十分経テ所長、長沢指導、並ニ木

口郡書記ノ出席アルヤラ、初対面挨拶アリ。講習生人名

簿ノ点検等終リテ、今後十日間ノ講習実習項目ニ付種々

ノ御話シ、且ツ協議アリテ退席。二十分程休息シテ講習

生二十四名講堂ニ參集整列シレバ、所長並ニ長沢指導、井上氏ノ着席アリ。來賓ニ東置賜郡長、置賜農學校長外諸賢ノ臨席等□レバ所長開会示〔辭〕ヲ述ブ。其ヨリ所長以下講習生君が代ヲ二唱ス。終リテ所長ノ訓示アリ。來賓側ヨリ郡長ノ祝辭講話アリ。終ルヤ講習生ヨリ八岩瀬君、代表シテ答辭ヲ述ブ。終テ一同退場。少シク休息後加藤所長ノ中小農保護政策ニ付テ十一時過ギ迄講話アリタリ。二時迄休息。二時ヨリ長沢指導ノ我が国体ト民生々義ト題シテ三時半迄講話アリ。四時ヨリ各自外出ヲナス。六時夕飯ヲ食ス。七時ヨリ所長殿並ニ長沢指導、井上氏外ニ當農學諸各氏ト講習生一同ト共、茶話会ヲナス。茶話中各自ノ履歷ノ物語リ且ツ種々御話アリテ、九時迄楽ク夜ヲ過シ、終ニ來拜式ヲ入レテ眠リニツク。

八月十二日 午前晴 午后曇 雷

暁の空にひゞき渡る鈴の音に夢破られて起床。室内の掃除終りて洗面所に至る。冷水浴を行ふ人々もあり。爽快さは如何ばかりならん。

高まる鈴の音に一同講堂に參集、來拜〔礼拜〕を行ひて

君が代二唱、神すみ心静かにして心身共に清淨無垢の境に入りたる感あり。時々朝礼の事行ふ。了つて朝食時は柱にかけたる時計丁度六時。三度の鈴に登校、七時より加藤先生の國家と題せられて國家とは小さな我と云ふ普遍の多く集りたるを云ひ、即ち國主的普遍我なりと、色々例をひかれて九時三拾分迄講話下さる。

少しく休息してより長沢先生の昨日の続き、デモクラシイの説明と拾壹時迄御話被下たり。生等大いに覺醒する点あるんか？。

正午昼飯、それより二時迄休息、此の間各自□□ひの勉強を為す。

二時より加藤先生の武道。直心影流の型に借り、種々例をひかれて三時三十分迄後話あり。

殊に平山行藏先生ノ御話?…。

生等の胸に沁々と答へ、此之精心修養の根本義は武道に由るか…。然らば誠意専心鍛練せんとの結論を下すを得たり。斯く至りては矢も楯もたまらず本日所内に於僕ありと聞き、それに一同□□せ行きたり。五時半夕食了つて筆記清書や支への手紙認むあり。又胸襟共に開いて談笑

するあり。九時礼拝の事あり。了つて床に就く。

八月十三日 曇天時々晴〔この日は青色インクを使用、非常に読みにくい。〕

舎内に響く起床振鈴に夢破られ各自起床し洗面所に於て眠気を覚す。今日は連日の炎天に引換へ濃霧四方に漲り空気冷かにして早や秋の気分を表し我々ハ為めに神気爽快を感す。其より各自掃除をなし、六時講堂に於て一同礼拝、君が代の合唱し直に食堂に入り朝食を食す。七時昇校し、九時半迄長沢先生の御講話ありたり。題ハ先に内務省より発せられたる五大項目の中の立憲思想云々と云ふに就きてなりき。少しく休息の後代つて加藤先生農村目的の大略に就き例を引き、御熱心に御教授せらる。時□に十一時。正午昼飯を了し午后第一時より雨天体操場に於て本県農事試験場技師□〔有?〕川先生の農□〔事?〕に關する御講話を承わる。時に同三時なりき。間もなく同体操場の机を取片付け、加藤先生、船越先生にハ吾々一同に直心影流の基本の型を御熱心に御教導せらる。其の気合響きて雷の如く五体より流汗瀧の如く時

の過くるを覚す。五時過閉ぢて同三十分夕飯を食し各自帳簿の整理や日記の付留をなし、又ハ外出をなすものあり。八時より一同談話室に集合し倉田先生より玉串の来歴より其他礼拝ノ仕方等熱心に拾時頃迄御教導を受く。其より礼拝をなし了つて各自床に就く。

八月拾四日

天候、昨夜以来豪雨、湿気室内充滿して大過、稲作に害ならん〔ママ〕事を祈るのみ。小蒼生、生色有り。

記事、朝の行事ハ前日に同じ。

七時昇校、長沢先生の昨日の続き、五大□〔張?〕の説明後、自治に關する御勅語の説明有り。引例多い。大少、高卑、只生等を放□〔浪?〕せしむ。

只□〔本?〕問時に於て五分時の休憩を与へられしは先生ノ温情を察せられ、一面生等の不真面目を曝露して赤面の至りなり。

二校時は加藤先生の農業の御説明あり。実例引証其の當を得たると云ふを得べし。

只高遠なる御講話の御親切なるも、□〔?〕い生等の頭

脳に徹底的なる理解を与へざる事有りしはうらむべし。
猶一層奮発を要す。

拾式時昼食、節米主義実行の麦飯、味甚美なり。御土産の芋も亦みつる。鷹山公時代を偲ばしむ。

午後一時より船越先生御指導の本に武術を練習す。本日は八相として真影流の第一歩なり。只生等の武骨は技を春風ならしむる事不能。然し汗のみ春雨の如し。

夕飯は五時半なれども労を食するの味、勞せずし食するの百倍なりとの井上円了先生の詩は実に然るを覚らしむ。放課は各自の果敢八十番〔十八番〕芸百出し。

興尽くるを不□〔?〕、角立たぬ話に座も円く意見縦横、維新時代の志士の如く未来の蓋世の英雄の雛なるべきを思わしむ。

九時礼拝後就床。鼾声雷の如く上杉氏の春日山上に於けるが如し。只蚊軍の襲来甚だし。

昼 丸茄子漬 三ツ 茄子汁（味噌）

夜 芋と茄子丸煮

丸茄子漬 二ツ 豆腐賽ノ目汁

飯 麦 五分 米 五分

八月拾五日 雨後晴

起床 五時。

校内の鈴の音と共に睡き目をこすりながら冷水浴を行ふ。終りての感じ清々として例へんに物なしか。

この清めたる心を持ち、昨夜来の雨の中を洋傘カ ril 連中にて、我が講習生一同小松皇大神宮参拝に向ふ時すでに五時半も近し。やがて拝□〔殿?〕に座しまち居るや、加藤先生始め一同神を拝す時は心静々としておのずと頭を垂れん。まずその式も終り神官の家にて莊田先生に神話を聞きて校舎に帰へる。少しく休息なしより拾時過、長澤先生の講話を聞く。後は加藤所長の講演ありたり。長澤先生は十時頃山形に出でられたり。午後加藤所長は井上先生、中郡出身の講習生と中郡青年会に講演に出掛ける。

午後一時より舟越先生の指導により武道を行ふ。直真影流の二本目を教授せられたり。五時半夕食。九時礼拝。消灯床に就く。蚊の襲来甚だしくして直ちに眠るを得ず。

八月拾六日 晴曇天（この日は薄いインク様のもので筆

記、非常に読みづらい。」

雨上りの空に東天輝きガラス窓越し白いカーテンから朝に風が気持ちよく吹き入るを身に受け、のみ軍の総攻撃の跡を印しあるを見つ、起き出で、朝の行事をなす。洗面、掃持〔除〕、君が代合唱、挨拶、朝食をなし、まづ元氣つけて今日一日の講習を真面目に聞くの姿、且ち「ママ」虎がまさに敵に対する時の如きにらみの一時間を過し、七時の鐘の音に猛虎の勢で教室に波うち入る先生の咸〔感?〕ありて、莊嚴なる□實力ある御講話に接し無言の御教導を受けると共に、有益なる御講話を拝聴するは青年に及ぼする効果大なるを感謝せずんばあらず。すなはち農村自治、農村自治機関等、拾壹時拾分終る。麦飯、豈に青年の身体鉄の如く、志気の養生、正に昇天の勢あり。之を世の病院生活に苦しむ同胞に捧げんと、午后一時より武道の大家船越先生の教導にて直真影流の三本目を練鍛す。

五時半夕食、夕食後青年の氣鎮めにと外出せ□諸氏多くあり。宿舎内はせきばくとして独□電灯のみ蚊軍の攻撃を受けつ、あるをいたむ。午后九時礼拝、諸氏の帰舎せ

ざる者多く、加藤先生の心をいたむ。消灯後の出来事は知らず、女神の如深き眠りに就きしは拾時頃と思はれしを。

八月拾七日 晴薄曇

八月拾七日午前五時打振る五時の鈴に起床、洗面中に勇気の冷水浴、各自室内の掃除終り、君が代合唱。六時朝食（丸茄子漬、汁）、七時昇校、九時半迄第一校時十時より十一時迄、第二校時加藤所長御講話（補助機関、精神問題、修養手段）、正午中食（塩引、茄子丸漬）、午后一時迄休息、同一時より始り四時迄船越先生御指導の下に直影流一通（四本目迄）、終て休息。五時半夕食（茄子丸漬、汁）。実入る稲穂を打ながめ当日の復習やら雑誌の愛読やら散歩やらに、太陽も西山に入る。九時礼拝、終つて十時就床。

八月拾八日 曇天正午快晴

カラリン、カラリンと既定の振鈴は親愛なる廿有四名の行者の夢を破るには十分の愛の轟であった。

鳴々、今日は十八日なのか。月日の行くのも早いもの。斯くして無限の生命もやかては五拾年の一日となつて生の一部を奪ふのか、オ々、なんだかいやな気持がするの。今日は其の精〔ママ〕でもあるまいに天気までいやな心を尚々奈落の底へでも押しやる様なドンヨリとした御空だものとは考へずに居られなかつた〔ママ〕。

午前五時 起床、冷水浴、や?、寒いの……。これが剛健主義。

同六時 君が代二唱礼拝。

而して例の通り美味な麦飯に牛蒡の煮た奴で大いに腹に忠義を尽くした。

自七時より九時に至る迄、農業経済問題に就いて滔々数万言、農村の経済は一農家の経営法を完全にし、然る后一部落に産業組合を誕生するにありとて、長南三右衛門君の一家の整理より群馬県勢多村野中の模範産業組合の事に言及され、余等は一層感心覚醒しぬ。小憩約式十分にす。

自九時過ぎより正午迄続けて加藤所長の産業組合につき例を上げ細密致らざるなき程熱心に講義されぬ。

昼食、麦飯茄子漬主義なるに又珍し哉、すゞ子等の馳走ありき。

食后一時間半休憩。

二時半まで午前続きの講義ありき。

其れより船越先生より雨天体操場にて直真影流の一本二本を講習生一人つゞ教を受く。皆上達せるを覚ゆ。直ちに同先生より打太刀及仕太刀の型を筆記し終りしは午后五時なりき。

夕食（納豆、汁）、満腹を抱いて小松町中小松新山神社の祭礼にて足を急ぎぬ。

〔頁の上部に「人事消息」とあり〕本日加藤所長米沢市開催南郡中堅青年講習会へ出席する可〔べく?〕午后小松を出発されぬ。

其の代り又待ち兼の長沢地方指導婦校されぬ。

山形講習所修了生、二、三名こられぬ。

八月拾九日 晴夕方曇り

例の如く五時起床なし、冷水浴を行ふ。六時の朝食前、清々たる心を以つて君が代二唱なし、食せる麦飯味百倍

とも思わる。

自七時より長沢先生に有益なる講話、至十二時近くまで教わる。午後一時より船越先生より例の真心影流なるを一本より終りまで熱心に教わる。又講習生卒業生なる者来り、これ又善く教へて来れ、我等短期講習生の幸福いかにますか。まず木劔修了とかや。午后四時半に終りて帰舎す。夕食后、例の麦五分飯、茄□、これでも五六バイは皆んな食べる。午后九時頃より加藤所長に御馳走にてなぜ人間は眠きか、その理由如何との御話し。就床なす時は十一時過ぎと覺えたり。

八月式拾日 天気静朗〔ママ〕

起床、午前五時、例の如く洗面后、室内ヲ清透〔潔〕にし、冷水浴の莊嚴さを玩味して本日式ある筈の講堂の大清掃を執行す。終つて、礼拝君ケ代二唱。朝食を喫す〔茄子漬、牛蒡汁〕。

登校、自七時至九時半、加藤先生述、清水及衛氏の孤軍奮闘、遂に縄積組合より産業組合に到し経路を説明され、十日間の総括的訓示を致さる。

自九時半至拾時、長沢先生述、国家ノ健全は農村の発達にあり、国民の精神は農村の個人の精神にある由を説かる。

③

〔表紙〕

日誌

第五回長期講習会

〔綴じ紐に縦140mm、横103×106mmの厚紙がくくりつけられている。表に「第五期生（一日交代）郵便当番 朝七時卅分 晚六時卅分 投函 当務者八日誌二署名スルコト」、裏に「郵便物当番八日誌当番ヲモ兼ネルモノトス」とあり。〕

〔本文〕

日誌

十一月廿日 木曜日 降雨

起床、午前五時起床して各当番任務に就く。

食事、午前七時一同食堂に集合し君が代二唱して食事に

就く。

入所式、午前十時より左の順序により入所式を挙行す。

順序

- 一、開式の辞
- 一、君が代再唱

一、所長の告辞

一、知事の訓示

一、来賓の祝辞

一、講習生総代答辞

一、所長の挨拶

一、閉式

以上

大正八年十一月二十日

午後一時より式場の整頓をなす。

礼拝、午後九時講堂に集合、礼拝の上就寝す。

十一月廿一日 金曜日 晴

起床、午前五時起床して各作業任務に就く。五、六組武道。

食事、午前七時一同食堂に集合し君が代二唱して各食事

に就く。

実習、午前八時より実習、作業は大根拔及耕運、午後四

時修了す。

礼拝、午後九時礼拝、直に就寝す。

十一月廿二日 土曜日 雨

起床、午前五時起床して各作業任務に就く。五、六組武
道。

食事、午前七時一同食堂に集合、君が代二唱して各食事

に就く。

午前八時より道場に集合、武道及柔道ヲ行ふ。

明日ハ日曜ニ付帰省せるもの五名あり。

礼拝、午后九時講堂に集合、礼拝の上就寝す。

十一月廿三日 日曜日 晴

起床、午前五時起床して各任務作業に就く。二、五武道。

食事、午前七時食堂に集合、君が代を二唱して各食事に

就く。朝食後日曜に就き休業。

礼拝、午后九時講堂に集合、礼拝の上就寝す。

十一月廿四日 月曜日 雨

起床、午前五時起床して各任務作業に就く。五、三組武道。

学科、午前八時講堂に集合し加藤先生より時間割の説明
及本講習所開設の由来等に關し御話ありたり。午

后一時より四時迄武道を行ふ。

礼拝、午后九時講堂に集合、礼拝の上就寢す。

十一月二十五日 火曜日 曇

起床、午前五時起床して各任務作業に就く。四六組武道、

七時朝食、君が代二唱。

学科、八時ヨリ十時迄習字、十時ヨリ正午迄デ植物学。

実習、午后一時ヨリ五時迄で麦播五六組、打耕シ一四組、

三組も耕鋤。

茶話会、午后六時半ヨリ会費貳十銭。

協議、論語筆記用紙買フ事。帽子一定スル事。薪買フ事、

炭買事、読売及国民新聞取ル事、各々の戸籍履歴

等ヲ自称し御互ニ知り合ひマシタ。

礼拝、午后十時四十五分講堂ニテ礼拝の上就寢く。

十月廿六日 水曜日 晴

起床、午前五時起床して各任務作業に就く。一、三、五組武道。

食事、午前七時食堂に集合、君が代二唱して各食事に就く。

学科、八時より十時まで船越先生から習字、十時より十

貳時まで加藤所長より農村経営。

実習、午后壹時より五時まで炊事当番及び眼病者を除く

の外全部実習、□□大根採取、麦蒔、及び耕鋤をやる。

礼拝、午後九時講堂にて礼拝の上各就床す。

十一月廿七日 木曜日 曇

起床、五時起床、各任務に就く。本日より特に高等小学

校卒業生及び有志のため朝食前、数学を教授。

学科、八時より産業組合主事補、加治先生の産業組合、

拾時より拾二時迄加藤所長の農村経営。

実習、午後炊事、眼病患者を除き全部農場実習（打耕麦

播）。

礼拝、午後九時礼拝、直チニ就寝。

十一月二十八日 金曜日 曇り

起床、五時起床、各自任務に就く。高等小学校卒業生及

ビ有志者のために七時半ヨリ英語を教授す。

学科、八時より井上先生の農学大意、十時より習字す。

午後一時よりは加藤先生の武道講話あり。四時よ

りは柔道ありたり。

実習、なし。

礼拝、午後九時礼拝後就床す。

十一月廿九日 土曜日 曇

起床、五時起床、各自任務に就く。

学科、八時より加治先生の産業組合、拾時より正午迄長

沢地方指導長の町村自治制有りたり。

実習、なし。

武道、午後七時より九時迄武道を行ふ。

礼拝、同九時礼拝終りて就寝す。

十一月卅日 日曜日 曇 午細雨寒し。

起床、五時各自任務に奮励す。朝飯後は日曜なれば各自

皆自由。帰省の人もありたり。午後五時晚餐まで

には皆帰舎し、午七時より九時迄黙読時間。

礼拝、午後九時就床す。

十二月一日 月曜日 雨

起床、五時、各自任務に奮励す。朝食は七時二十分に一

同君が代を二唱して食に就く。八時より拾時迄習

字、拾時より十二時式十分迄農学大意、肥料学、

午後より武道、四時より柔道、夕食は六時より九

時迄は黙読時間。

礼拝、九時礼拝終りて就寝いた。

十二月二日 火曜日 少雨曇

起床、五時起床、各自任務ニ就く。

八時ヨリ習字ヲ十時まで。十時十五分ヨリ十二時マデ井

上先生ノ肥料の講話。

実習、午后一二組ハ縄ナヒ、三組ハ大根繫ギ、五六組ハ

武道、三四組ハ農場ヨリ藁及細木ヲ運ビタリ。

五時夕食ヲ終リ後九時マデ黙読。

礼拝、時間、九時礼拝終リテ就寝ス。

十二月三日 水曜日 終日晴

起床、五時起床、各自任務に就く。

朝食は七時二十分に一同君が代を二唱して食に就く。

学科、八時ヨリ十時習字ヲ成シタリ。十時ヨリ十二時マ

デ所長ノ農村経営及学校衛生主事井出潔ノ腸窒扶私〔斯〕ノ講話、午後ヨリ所長ノ産業組合ノ事。

午後五時夕食ノ後七時ヨリ九時マデ黙読時間。

礼拝、午後九時礼拝シテ後就床ス。

十二月四日 木曜日 曇天後雨 七号室記

起床、起床時間は午前五時、各自任務を分掌す。

午前中学校、朝食は例に依り午前七時喫食せり。午前八時より二時間船越先生より習字を、後正午迄加藤

所長の農村経営を。

農場実習 拾壹時五十分中食を終え、午後より三組を除

く外、農場に至り麦の鎮圧其外、麦の種蒔き等を終え、同五時夕食を喫し、后有志者の柔道（八時迄）を船越先生の教授の元に練習す。他は勝手に

自己の仕事をはたせり。

礼拝、同九時、例により所員一同講堂に集て礼拝の上就眠。

十二月五日 金曜日 終日晴天

起床、起床午前五時、炊事、武道、掃除に各当番者服務す。

朝食、午前七時君が代二唱後食事に就く。

学科、午前中井上先生の土壤学、終つて所長先生ノ農村経営、終つて昼食事。

午后三時半に至るまで実習、第三組は炊事に係る。

実習は堆肥積上げ、麦鎮圧、長芋掘り。夕食事午後五時、本日水風呂を立てた。

夜、六時半より互誼会発開式兼〔茶菓〕を開催す。一同会場集合、会長会則朗読、各係員細則報告、次に

山形煙草専売支局小玉製造課長の手腕試験の事に
付話された。次に茶菓、次に所長先生の有益なる
色々の話あつた。

閉会礼拝、十時十分閉式礼拝終、隨時就床。

十二月六日 土曜日 晴天

起床、午前五時起床、三組炊事、一、五組掃除、二、四、
六、武道、午前七時君ヶ代二唱後食事。

実習、午前八時より午前十一時半まで三組（炊事）を除
くの外農場実習。実習作業は長薯掘り、刈桑の施
肥、麦播き。午后より自由、帰省者も数名ありた
り。

礼拝、午后九時一同講堂集合、礼拝終り随意就寝。

拾二月七日 日曜日 曇

起床、午前五時起床、三組炊事、二、四、六組掃（マ
マ）、一、二、五組武道ノ任務ヲナス。午前七時
君ヶ代再唱ノ後食事。

旅行団ノ下、体育部ニテ旅行団ヲ組織シテ山寺へ行ク。

午前八時出発、総員七名、昼飯持参。午后五時帰
寮（旅行団）。

礼拝、午后九時礼拝、終つて隨時就寝。

十二月八日 月曜日 曇

起床、午前五時起床、第四組炊事、二六組掃除、一三五
組武道、各任務ニ服ス。午前七時君代二唱ノ後食
事。

学科、午前八時半ヨリ十時迄、所長先生の農村経営、午
前十時ヨリ正午マデ加治先生ノ産業組合、終リテ
昼飯、午后一時ヨリ船越先生ヨリ習字ヲ習フ。

大掃除、午后三時迄、三時ヨリ、大掃除、一組廊下、便
所、二五組講堂、図書室、三六組道場、玄関、応
接室、倉庫、四組炊事場、食堂、洗面所、浴室、
出来後武道。午后五時夕飯、八時頃ヨリ順次入浴
ス。

礼拝、午后九時礼拝終リテ就眠。

十二月九日 火曜日 雪

起床、午前五時起床、四組炊事、一五組掃除、三二六組

武道、午前七時君ケ代再唱ノ後食事セリ。

学科、午前八時半ヨリ十時半迄習字、午前十一時ヨリ十

二時迄加藤先生ノ農村経営、正午食事セリ。

実習武道、午後一時ヨリ四時迄、一二三組武道、四五六

組縄ナヒ。午後五時夕食、七時ヨリ黙読。

礼拝、午後九時礼拝終リテ就床。

十二月十日 水曜日 雪

起床、午前五時起床、四組炊事、二組掃除、一三五組武

道、午前七時君ケ代再唱ノ後食事セリ。

学科、午前八時半ヨリ十時半迄農村経営、午前十一時ヨ

リ農村経営、正后迄習ヒ食事セリ。

実習 午後一時ヨリ四時迄一二三組ハ縄ナイ。四五六組

武道、午後五時夕食、七時ヨリ黙読。

礼拝、九時礼拝シ終リテ寝就ス。

〔以下、「茶話会」と「礼拝」は、行を空けずに続けて書

かれてゐるが、筆跡が異なる。茶話会参加者によ

るものだろうか。委細不明。〕

茶話会、午後八時ヨリ西郡一笑会ト合シ茶話会ヲ催ス。

礼拝、午後十時礼拝ヲ行ヒ寝就ク。

拾弍月拾壹日 木曜日 曇小雪

午前五時起床各自担当任務ニ就ク。

午前七時君ガ代二唱シテ朝食ヲ喫ス。

午前八時ヨリ加藤所長ノ農村経営アリ。

午前九時半ヨリ内務省囑託今井兼寛氏ノ民力涵養ニ関ス

ル講話アリ。

午后一時ヨリ武道、実習。

午后六時ヨリ図書閲覧室ニ於テ互誼会幹事会ヲ開ク。

午后九時一同講堂ニ整列シテ礼拝シ就床。

拾弍月拾弍日 金曜日 晴

午前五時起床、各自担当任務に就く。

午前七時君ガ代二唱して朝食をなす。

午前八時半ヨリ加藤所長の農村経営あり。次に井上先生

の農学大意、土壌学あり。十二時昼食。

午后一時ヨリ体育部主催にかゝる演武大会あり。午后

三時半終了。

七時より黙読あり。

九時一同礼拝して寝に就く。

十二月十三日 土曜日 晴天

起床、午前五時起床して各自当番任務につく。

食事、午前七時君が代二唱して食事を喫す。

学科、午前八時より九時迄農村経営あり。

視察、午前九時半頃より山形煙草専売局を視察し正午帰

舎す。

其の他、午後より休業各自自由行動す。黙読時間とし、

本日加藤所長新庄へ出張す。

礼拝、午後九時礼拝して就寝す。

十二月十四日 日曜日 晴天

起床、午前五時起床して各自当番任務につく。

食事、午前七時君が代二唱後食事を為す。午前八時より

船越先生より来成年成者禁煙の講話あり。午後七

時同九時迄黙学を為す。

礼拝、午後九時礼拝後寝に就く。

十二月十五日 月曜日 晴

起床、午前五時起床、各自担当任務に就く。

食事、午前七時君が代再唱して朝食に就く。

学科、午前九時より農村経営及英語。午后は一、二、三

組武道、四、五、六組は加藤先生率先して大掃除
を行ふ。

礼拝、午后九時講堂に集合礼拝し加藤先生より感冒に就
ての御注意あり。終て各自就寝す。

十二月十六日 火曜日 雨小雪晴

起床、前五時起床、各自担当任務に就く。

食事、午前七時君が代再唱して朝食に就く。

学科、午前七時半より代数、植物生理、県下の産業、午

后一二三組実習、四五六組は武道。

礼拝、午后九時講堂に於て礼拝、各自就寝。

十二月十七日 水曜日 雪

起床、午前五時起床シテ各自担当任務ニ就ク。

食事、午前七時君が代二唱シテ朝食ニ就ク。

学科、午前七時半ヨリ英語、八時ヨリ十時マデ植物、十

時ヨリ十二時迄デ教室ニテ詩吟、午後一時半マデ

英語、午後二時ヨリ実習。

礼拝、午後九時講堂ニテ礼拝、各自就眠。

十二月十八日 木曜日 晴、曇り

起床、午前五時起床、各自分担任務ニ就ク。午前七時朝

食。

学課、午前七時半ヨリ代数、八時半頃ヨリ産業組合、拾

時半ヨリ正午迄農村経営ヲセル。

実習、午后ヨリ実習。各組ヨリ三人ヅ、農場へ行きとま

作り、薯□〔?〕ノ他ノ貯蔵及び小屋カケヲヤツ

タ。在所者ハ繩ナヒ。

礼拝、午後九時講堂に集合して礼拝、各自就眠す。

十二月十九日 金曜日 晴曇り粉雪

起床、前同じ。

学科、第一限井上先生の土壤学、第二限講師理事官学務

課長有吉実氏の憲法。

弁論会、午後七時より講堂に於て互誼会弁論部第一回弁

論会を開く。其の効果の偉大なるを認む。

礼拝、弁論会終るや直ちに礼拝就眠す。

十二月二十日 土曜日 曇

起床、午前起床、各自分担任務ニ就ク。

学科、習字、英語、午后有志柔道。

礼拝、九時礼拝就寝。

十二月廿一日 日曜日 晴

起床、午前五時起床、各担当任務に就く。午前七時朝食。

朝食後、九時過まで柔道、後休む。夕食五時。

礼拝、九時講堂参集礼拝、各自就眠す。

十二月廿二日 月曜日 曇雪

起床、午前五時起床、各任務に就く。午前七時朝食。

学科、午前八時より十時迄英語、十時より十二時迄農村

経営、午後一時より武道及掃除、午後五時夕飯。

礼拝、午后九時講堂参集し礼拝、終つて就床す。

十二月廿三日 火曜日 曇 今朝になりて夜来の吹雪已

み積雪五寸余

起床、定刻起床、各任務に服すること例の通り。午前七時朝飯。

学科、八時より十時迄植物生理、后十二時迄で県下の農

業。午后より数学、草鞋造り、夕飲〔飯〕迄。草

鞋は明日の雪中行軍用なり。

礼拝、午后九時、就床。

十二月廿四日 水曜日 曇

起床、定刻起床各任務に服す。事例の通り午前七時五分

朝飯。

学科、午前七時四十分より九時五十分迄英語。十時に昼

飯を過し雪中行軍の準備。

行軍出発、十一時に寮門を發し午后三時半到着、一同無

事入浴し各室に集まり整理中、足の痛みを直し、

間もなく夕飯に就く。

忘年会、六時半より開会す。所長さんの開会の挨拶を述

ぶ。それより余興に移る。その偉大なる事天下

品。

礼拝、午后十一時頃なるべし。床を取り安眠に就いたの

は午后十二時前後なるべし。

十二月廿五日 木曜日 積雪一尺前後、高湯にて

起床、午前七時、但し早い者は其の限にあらず。一同御

座敷に集まり君ヶ代を二唱し食に就いたのは八時

半頃なるべし。午前中自由行動。昼飯十二時。当

地出發一時、雪中を悠々として軍歌を歌ひ乍ら一

同無事寮内に到着したのは后四時半。夕飯五時。

自由時間。

礼拝、午后九時、就床す。

十二月廿六日 金曜日 曇小雪

起床、定刻起床、各自任務二就く、例ノ如シ。午前七時

朝飯。

学科、午前八時ヨリ十時迄土壤講義。同十時迄産業組

合。午後一時半ヨリ英語（四時迄）

礼拝、午後九時礼拝、床就す。以上

廿七日 土曜日 曇後晴

起床、午前五時起床、従業其他、朝食等は平常に異なる事

なし。

学科、午前七時半より所長殿に就き農村経営の農家労力

分配表に就き、同十時迄教を受く。其後正后迄古

神道を修む。午後より休業、明日より向ふ一週間

一同休みに付き、寮生の大方は帰省す。残るは僅

に十数名、屯名残留のはづにて、他は明日を期し

帰省のはづなり。

礼拝、定刻に至り礼拝を終り就眠夢路辿る。

九年一月六日 火曜日 曇

起床、定刻起床、各自当任務に就く。午前七時朝食。

学科、午前九時より十時半迄井上先生ノ肥料学講義あり。

暫時休憩後十時より所長の伊勢参宮の土産話。寮

生一同をして多大なる修養と成す処ありき。午后

一時終り直ぐ昼食、二時より習字、新年書初めの

揮毫せしものを恭しく提出。四時終り、後夕食迄

柔道。

礼拝、午後八時四十分礼拝。直に就寝。

壹月七日 水曜日 曇 丹内

起床、定刻十分前起床、月光明にして星宿稀疎たり。風

寒くして霜最も深し。四十の健児は此の寒さを物

ともせず各自任務に就く。

食事、寒氣凛々として肌をつんざくが如き中に我所独特

の武道は早朝よりエイヤーの呼声勇ましく抜山蓋

世の勇を奮ひ、百折不当の胆を以て邁往直進、宛

も利劔を振ひ乱麻を断つが如き觀あり。終りて朝

食。

学科、本日井上先生米沢に御出張に成り加藤先生又御多

忙、船越先生も高等小学に御出でに成り、八時よ

り各自習字を成す。十時より長沢地方指導の講話

ありたり。十二時昼食。

武道、午后一時半より武道、四時終りて有志の柔道、井上先生八時頃帰舎致さる。

礼拝、正九時礼拝、所長殿より流行性寒冒に付いて御注意ありたり。宜しく下腹に力を入れてこれが戦闘に準備せざる可からず。偉大なる哉、下腹の力。

一月八日 木曜日 曇天

起床、午前第五時起床、各自炊事に掃除に武道に当務に就く。午前第七時君が代二唱して朝飯を戴く。

学科、加藤先生御出になるまで習字をやるべく各自準備して講堂に集まりたるも、直ちに先生御出になられたので習字はやめた。習字をやめて十時過ぎまで加治先生の産業組合の話があった。其後昼まで加藤所長先生の農会の御話あった。

午后より一同県会議事堂へ飯岡清雄氏の町村農会の経営講話を聴きに行く、三時まで。帰所後再び本講堂に於て飯岡氏の講話、午后五時までであった。午后七時より九時まで黙読時間、此時ある一部の人柔道をやったものもある。

礼拝、午后第九時礼拝、隨時就床、安眠腹力をゆるめず
に而も安らかに。

一月九日 水曜日 梅鶯

起床の鐘夢破る。立ちて寮窓に寄れば残月□〔侘?〕稀として樹梢にあり。吾若し文筆あれば一句も出そうに、惜しい哉!! 楊子脚へて井端に至れば、煙の如き靄の如き細雨濛々として山野を罩む。朝の任務も終へて火鉢擁して沁々と若き日の歎悶〔ママ〕等談り交す。炊煙淡々として食堂の屋根に横たはる。勇ましい武道の掛声、亦エーヤと漏れ来る。七時半朝飯す。骨ある麦飯もたまには格別美味を感ずるが如くして感ぜず。〔上部余白に「偶成、寒き朝 火鉢囲みて 話する 親しき友の 顔覗き見つ」〕

八時より加藤先生の御訓話、九時四十分より伊佐早先生の論語講義あり。低回数刻心神に清爽を感ず。論語は実に我々の一日も忘るべからざる教育勅語の衍義又は注脚ともいふべきものにて、其の

旨趣の帰する所全く同一なれば我が帝国臣民たる

もの、熟読玩味して之を实地に応用する事を務む

べき也。太陽は天空高くキラキラと輝きつゝあり。

正午、茲に正午吾等四十名の大食家、今朝来の骨あるめ

しにて空腹を満す。

講談、午后一時より県会議事堂に行き、神田南風氏の農

事に関する講談を聞きたり。帰る時は早や日は將

に沈まんとして西天を染めた。

柔道、寮に帰ってから有志は柔道をやれり。流汗稽古着

を湿して殆ど剩す所なし。

新年会、夕飯も定刻に終へて六時半より新年会を開きた

り。委員の苦心現はれ、満堂の全員滑稽なる余興

に抱腹絶倒す。之委員の満足せし所。

礼拝、九時十五分礼拝して寝に就く。

燈下に今日の記を作り乱筆乍ら後日の記念となす。

南風氏の講談中の一句

善くなるも法 悪くなるも法

法は六道のためにおほはる

世は仏 すれつもつれつするものを

頼まぬものは あはれかりけり

一月十日 土曜日 晴 東軟風

起床、五時鐘鈴の音にねむりを醒し各自任務に従事す。

朝食、七時君が代二唱終へて食に付く。

学課、八時より船越先生のもとに習字をやる。拾時より

柔道撃劔十二時まで。午後より休業。帰省は四名。

礼拝 午後九時一同講堂へ集合して礼拝をやり、各自隨

意就眠す。

一月十一日 日曜日 曇

起床、午前五時起床の鐘閑静なる自治寮内に響き渡る。

各組炊事掃除武道と各任務に服す。

食事、午前七時一同食堂に集り君ヶ代二唱後食事致せり。

今日ハ休。正午昼飯、午後五時夕食。

礼拝、夜ハ各自勉強、九時礼拝終りて就眠。

一月十二日 月曜日 曇

起床、午前五時鐘鈴の音が聞ゆれば起床、各自任務に従

事す。

朝食、午前七時一同食に集り君が代二唱終りて食に付く。

学科、七時半より英語を九時迄習ふ。午前九時り〔マ

マ〕正后迄農村経営を習ふ。正後に昼食をする。

午後一時より一三組農場に糞尿の運搬す。二四五

六組各々大掃除をなす。午后五時夕食を為す。午

后七時より九時迄勉強をする。

礼拝、九時一同講堂に集て礼拝す。終りて各々の寢に就く。

一月十三日

起床、午前五時起床す。同七時各朝食をなす。

学科、八時より農村経営を学ぶ、十時半迄。十時半より

同じく所長殿より十二時迄農村経営を学ぶ。午后

より一、二、三組武道、四、五、六組実習。午后

七時より九時迄黙どく。

礼拝、九時一同講堂に参集、礼拝后行ひ寢に就く。

一月十四日

起床、午前五時定刻定床〔ママ〕す。同七時君が代再唱

し朝飯を済す。

学科、八時より有田先生の法制、十時より正午迄所長の

農村経営をなし、午後は所長先生の英語にて四時

迄、四時過ぎは有志武道をなす。午後七時より黙

学。

礼拝、午後九時一同講堂に参集し礼拝を行ひ各々寢に就く。

一月十五日

起床、午前五時起床し各任務に従事す。

朝食、君ヶ代を二唱し食に就く、七時。前八時より招魂

社参拝。

学科、加藤所長さん農村経営、九時より十時十分迄。加

治先生ノ産業組合、十時半、正午迄。

昼食、〇時三十分。

后一時二十分、同三時四十分迄習字。有志柔道、

夕食五時半。后七時二十分、九時半迄腸空扶斯、

流行性感冒に対する心得、県会議事堂に於て至誠

堂院長田中氏の講話、其の効力偉大なるを認む。

礼拝、后九時五十分、各自安眠。

一月十六日

起床、午前五時起床シ各自ノ任務ニ従事ス。

朝食、君が代ヲ二唱シテ食ニ就く、七時。

学科、八時ヨリ井上先生ノ土壤ノ講義ハ十時マデ。十時

ヨリ所長ノ農村経営ノ講話アリ。后一時半ヨリ柔道ノ試合アリタリ。

夕食、夕食ハ鱈焼キノタメニ六時半頃ナリキ。

礼拝、九時ニ礼拝ヲナシ各自ノ床ニモグリ込ミタリ。

一月十七日 土曜日 曇

起床、午前五時起床シ各自任務に就く。

朝食、午前七時君が代ヲ二唱シテ食ニ就く。

学科、第一校時中、所長殿の武道講義、拾時ヨリ英語。

昼食、午后一時、午后より休み、午后五時夕食。

礼拝、午后九時礼拝ナシ、各自床ニ就きたり。

一月十八日 日曜日 雪 曇

起床、午前五時各自其任務に就く。

朝食、午前七時食前君が代二唱。

学科、なし

昼食、十二時

夜食、五時

礼拝、午後九時、生等一同講堂に於て行ふ。終つて一同床に就く。以上、八号。

一月十九日 月曜日 曇晴

起床、午前五時各自其任務に付く。

朝食、午前七時、食前君が代二唱。

学科、八時より農村経営、同十二時農村経営。一時半より武道、三時迄。

夕食、五時。

礼拝、九時。

一月二十日 火曜日 曇天、少しチラチラと雪降る。清

園

起床、五時、五時になる前に禊をやる人々だいたい多いように見受けられた。つみけがれ払ひみそぎでしがしがし。とほつかみえみたまへ、いづのみたまをさきはいたまへ、あまつひつぎのさかへまさんこ
と、あめつちと〔の〕むたとこしえなるべし。午前
前五時より各自の朝仕事に従事。

朝食、午前七時朝食事、君が代は千代に八千代にと二唱して朝飯を喫す。

学科、午前八時より加藤所長先生の植物生理講義、午前
十時より所長先生の武道の話。

昼食、午前十二時。午后一部の人は武道、一部の人は藁
細工実習、第三組は炊事を相務む。

夕食、午後五時。午後七時より九時まで黙読、本晩の黙
時間内は何やらザワザワザワザワしてゐるやうに思
はれた。各人自重すやうではありませんか。
礼拝、午後九時、終つて各々随時就床す。

一月二十一日 水曜日 曇天

起床、五時、後各自の朝仕事に従事いたし。

朝食、七時に朝食、君が代三唱して。

学科、八時半より本日は有吉先生の法制経済なりしか、都合により欠席いたせし為、十時迄井上先生の地主小作問題の話なり。後十二時迄所長殿の農村経営。

昼食、十二時、一時より四時迄炊事人の外全部武道いたし、五時夕食をすまし、又湯に入り、七時より黙読二時いたし。

礼拝、九時一同礼拝して就眠しました。

二十二日 木曜日 晴曇、定まりなし

起床、五時起床、各自任務に奮励す。七時君が代再唱、
朝食。

学課、八時より産業組合、十時まで。十時より正午まで
憲法大意、国体の政体の御説明ありたり。

試合、午後より撃劔の試合など、柔道の試合をやる。午
後五時半所長先生の豚肉の御馳走に舌つゞミを打
つ、夕食をなす。猶蜜柑を頂戴す。

講演会、午後六時半より互誼会弁論部主催にて弁論会を

講堂に於開催、加藤先生の御誕生を祝福して開会す。雄弁をふるて弁ずる演者の話に、時の立を忘れ十時にいたり閉会す。其の場にて礼拝をいたし各自就寝す。猶ほ本日各自の書きたる書を道場にはり展覧す。

今日一日加藤先生の御誕生を祝し皆愉快げな顔付をして居った。

今日こそは我が師の君の御祝ひ日、ともにさげべよあつき弥栄

一月廿三日 金曜日 曇天、小雨時々ナリ

起床、寒気身を切る如き朝の五時に四十の健児は起床、直に各任務に服す。

学科、午前七時君ケ代二唱後食事致せり。午前七時半よ

り八時迄英語、八時より十時迄土壤学、十時より

十二時迄中館先生の自治制度、十二時昼食。

午後、午后二時より四時迄習字、後剣道。午後五時夕食、

七時より黙読。

礼拝、九時礼拝して就眠。

二十四日 土曜日 晴 佐藤莊助

起床、午前五時平常ノ如ク起床ス。掃除当番ハ其ノ任ニ付き、武道組ハ加藤先生指揮ノ下勤勉ニ行ハル。

学科、午前八時ヨリ加藤所長ノ英語アリタリ。午前九時ヨリ十一時迄加藤所長ノ論語アリタリ。午前十一

時ヨリ十二時半迄加藤所長ノ代数アリタリ。午後、休ミ。夜は自習時間ナシ。

礼拝、礼拝ニテ就眠ス。

二十五日 日曜日 晴

起床、午前五時、各任務ニツク。七時君ケ代二唱シテ朝食。

礼拝、午後九時礼拝して就眠す。

二十六日 月曜日 晴、時々曇

起床、午前五時例の通り起床、此の寒冷に未だ寢覚の夢覚めざるに冷水を浴びる大馬鹿者あり。諸兄雷同されざる様注意すべし。七時例の如くに朝食。

学科、第壹限、所長先生の農村経営、主に産業組合、殖

民に付き現代の風潮さを捕へて精神的に遺憾成と熱烈に御教授下されたり。第二限、自治制度なりしも中館先生の都合の為、井上先生の土壤学。第三限、船越先生より習字。午後より大掃除を行ひ、後柔道して夕食す。

礼拝、午後九時十分講習生耆同講堂に集合して各自就床す。

一月廿六日〔二十七日〕 火曜日 晴天、珍しき晴天也

起床、定刻に寢床を蹴起き、各自任務に奮励、此頃は冷

水浴を為さる健児、定刻前より勇まし。

学科、第一限植生、第二限県下産業中（園芸）試験場内

井芹先生の御話ありたり。午后、英語三時迄。

武道、三時より柔道擊劍適宜。

夕餐、五時、六時より幹事会、愉快に入浴。

礼拝、九時、所長先生流行感冒に就き御心慮なされ御注

意ありたり。

一月廿八日 水曜日 晴

起床、午前五時起床、各自任務に就く。

学科、午前八時より加藤所長の経済学にて、同十時より加治先生の産業組合たり。午后二時より武道、柔道、擊劍適宜。

礼拝、午後九時礼拝し就床せり。

一月廿九日 木曜日 雪降り

起床、午前五時起床、各自任務に就く。

学科、第一限加藤先生の経済学、第二限加藤先生の経験談あり。午后三時迄井上先生の土壤学ありたり。

同五時迄武道及び柔道適宜。

礼拝、午後九時礼拝なし就床す。

一月三十日 金曜日 雪降

起床、午前五時、各自任務二就く。

学科、第一限土壤学、第二限自治制度、午後柔道。

礼拝、午後九時礼拝なし就床す。

一月三十一日 土曜日 晴

午前五時起床、自己の任務に就く。

学科、第一限午前八時より十時迄加藤先生の論語素読、

十時より自習。北村山郡大石田青年団員二十余名

の訪問を受く。帰省者五名。

午後、休み。夜は黙読なし。

礼拝、午後九時礼拝をなし就床す。

二月一日 日曜 快晴後曇

午前五時起床、寒気甚し。朝食後神社参拝の予定の処、

加藤先生御出張御不在の為変更す。午後一時より有志諸

君武徳殿の納会試合に参加、勝利を博し意気揚々として

五時帰る。

礼拝、九時礼拝をなし就床す。

貳月二日 月曜日 雪 丹内

起床、五時一同起床し各々仕事に着く。

学科、井上先生の土壤学、八時より。十時より加藤所長

の経済学を為す。正午終り。

礼拝、九時礼拝、直ちに就寝す。

貳月三日 火曜日 曇 同

起床、いつもの通り。

学科、八時より習字、十時半より長田場長の県下の産業。

午後、老時より一二三組は肥料運搬で農場へ。四五六組

は残つて武道を為す。

礼拝、平日の通り。

四日 水曜日 晴 同

起床、五時布団をはね起き、直ちに仕事につく。今日の

朝飯は非常にうまかった。

学科、八時より加藤所長の植物生理。十時より加治先生

の産業組合。

午後、一時より二時半まで英語。二時半より五時まで柔

道撃劔を為す。

礼拝、九時直ちに就寝す。

二月五日 木曜日 朝青天(ママ) 後曇終二雪トナル

起床、五時一同起床、各々任務二着く。

朝食、七時朝食を為す。

参拝、朝食後村社熊野神社ヲ参拝ス。

学科、第一限加治先生ヨリ産業組合ヲ習ヒ。第二限伊佐

早先生ヨリ論語ヲ習フ。

昼食、正午昼食ヲ為ス。午後一時ヨリ習字ヲ船越先生ヨ

リ習フ。

夕食、三時半ヨリ柔道、五時夕食ヲ為ス。九時迄勉強ヲ

為ス。

礼拝、九時一同講堂ニ集リ礼拝ヲ為ス。直ニ寝ニ就ク。

式月六日 金曜日 曇

起床、午前五時、直チニ各自ノ任務ニ従事。

学科、午前八時ヨリ井上先生ノ農学大意、午前十時ヨリ

中館理事官ノ自治制度、午後一時ヨリ船越先生ノ

習字。

就床、午後九時。

二月七日 土曜日 晴

起床、午前五時、直チニ各自ノ仕事ニ従事。

学科、午前九時ヨリ十一時迄横田先生の林学、午后一時

半ヨリ師範学校に試合に行ク。戦利アラズ。

礼拝、午後九時礼拝シ直チニ就床。

式月八日(日) 晴

起床、午前五時各任務真面目。

朝食、午前七時一同気持良□〔さ?〕君が代お〔を〕二

唱し朝食した。

今日は各自一生涯命ニ散歩。

学科、なし。

午前、十二時昼食

午後、五時半夕食、八時より黙読時間。

午後、九時一同礼拝して各自安眠す。

式月九日(月) 晴曇

起床、午前五時床ヲ離ル、各自任務ニ服ス。

朝食、午前七時。

学科、八時ヨリ加藤所長ノ農村経営(十時迄)。十時ヨ

リ十二時迄中館先生ノ自治制度。午後一時ヨリ大

掃除ヲ举行。午后五時夕食、七時ヨリ黙読時間。

礼拝、九時一同礼拝就眠ス。

式月拾日 火曜日 朝ヨリ終日晴雪少シク降りタリ

起床、午前五時、直チニ各自ノ任務ニ従事。

学科、午前八時ヨリ十時迄加藤所長ノ植物学。午前十時

ヨリ十二時迄同先生ノ農村経営。午後一時ヨリ二

時半迄習字ヲナシタリ。同五時夕食満腹、七時ヨ

リ黙読時間。

礼拝、九時一同礼拝、就眠ス。所長ヨリ明日紀元節ノ式

ハ午前九時開式スルノ報告アリタリ。

二月十一日 水曜日 曇 佐藤信太郎

起床、午前五時、各自任務従事。

食事、午前七時君が代二唱、食ニ就ク。午前九時ヨリ紀

元節祝賀式行フ。

順序、勅語奉読、君が代二唱、紀元節唱歌、所長先生ノ

御懇篤ナル御訓示アリ。

昼食、正午食事。

夕食、午後五時夕食。

茶話会、午後七時ヨリ道場ニ於テ紀元節祝賀会トシテ茶

話会ヲ開催ス。

礼拝、午後九時三十分礼拝シ各自寝ニ就ク。

二月十二日 木曜日 大雪 佐藤彦太郎

起床、午前五時、各自武道、掃除ニ真面目デ従事。

朝食、午前七時君が代再唱後朝食。

学課、午前八時ヨリ十時半迄習字「一心世濟其美」。後

十一時ヨリ加藤先生ノ農村経営（殖民問題）。

昼食、正午。午後一時半ヨリ寮生全部武道四時迄、後各

自随意。

夕食、午後五時。

講話、午後七時ヨリ三島郵便局長ノ貯金、保険ニ関スル

有益ナル講話アリ。

礼拝、午後九時礼拝シ各自寝ニ就ク。

二月十三日 金曜日 雪 寒冷厳シ

起床、午前五時、掃除、武道。

朝食、同 七時。

学課、習字八時より拾時、植物生理、拾時半十二時半。

昼食、〇時半

午后二時より五時迄武道。

夕食、同 五時。午后六時から鈴川村青年会に武道柔道

教へに船越先生外四名御出なされた。

礼拝、九時。

二月十四日 土曜日 天気晴、冷氣頗る的厳し。清園

記す

節遅れの為めにや、寒終りてこゝに旬日を経過せ

しも残寒過酷にして、朝の掃除の水跡、直ちに氷

化して銀もてちりばめたる床の如くチロチロテカ

テカ。

起床、午前寅曉第五時の号鐘に一斉に離床。各人自分の

仕事掃除又は武道をやる。

朝食、午前第七時、活気ある君が代の二唱を終へて而し

て一同有難く戴く。

学課、第一限加藤所長先生の論語、終つて中館先生の御

出なさるまで寛先生の著書法理戯論につきて暫く

所長先生の御話ありました。第二限中館松生先生の自治制度。

昼食、午后〇時三十分。午后は各自自由に活動す。外出、

読書等、種々様々、土曜日の事なれば、いつもに

見ぬ自治寮訪問者ある様に見うけた。

夕食、皆どんな御都合が炊事当番様にあらせましたか、

五時の夕食が五時五十分になった。食堂に出て見るといつもにない大きな甘しいお魚がついて居つた。有難い幸せ。

た。有難い幸せ。

礼拝、午后第九時終つて随時就床す。

二月拾五日 鉄腕々白生

起床、食事等は定刻にやれども、日曜なるを以て帰省せ

る者あり。故に神社参拝は明日に延期した。活気

ある自治寮の健児は思ひ思ひの地を指して我が門

をくぐり出たために昼間はしんとしてぎはめく音

なし。昼は健脚にまかせて広い山形市中を隈なく

めぐり、夜は夜で愉快に過去とやら現在とやら末

長とやらを親しい友と談り合ひ、かくて過ぎた一

週間の疲労をわすれ、更に来る所の活舞台たる此の週の活動を思つてゐる。我が友は黙学のペルを聞くや読書に余念なく、恰も無人の如く只頁をくく、音ばかり聞えた。九時礼拝して各自床に就く。

二月十六日 月曜日 曇り

起床、午前五時鐘声に一同床を離れ各自仕事に従事。七

時食堂に集合、君ヶ代再唱して食二就ク。

神社参拝、八時より一同招魂社参拝。

九時半より農村経営拾壹時より十二時四十分まで

加藤先生の御話（寛克彦先生著の法理戯論といふ

本に付き）。

掃除、午後一時半より大掃除。午後七時より互誼会臨時

総会開催し、幹事の改選を行ふ。改選の結果、庶

務部佐藤栄斉、井上天地郎、弁論部中川亮一、岡

崎源八郎。編輯部高貫彦右衛門、加藤清、風紀部

井上長六、狩野長七、体育部城戸口準、斎藤圭介。

九時十分礼拝。

二月十七日 火曜日 曇

起床、午前五時起床、各任務に服従す。七時一同食堂に

集り君ヶ代二唱の後食事。

学科、八時より十時迄加藤先生の植物生理学、十時より

十二時迄井芹先生の果樹（柿）に付いて話された

り。

午后雪合戦、午後一時半より皚々たる千歳公園馬場に於

て四十の健児、双方分かれて雪合戦を催す。相戦

ふ事五回、一方の軍三勝、一軍二勝にて遂に午後

三時休戦して帰寮せり。後各自勉強、又、柔道す

る者もありたり。五時夕飯。

礼拝、夜、黙読、九時礼拝、就眠。

二月十八日 水曜日 曇

午前五時起床して各自任務に従事す。同七時食堂に集合、

君が代二唱朝食を為す。

学科、八時より十時迄農村経営、十時より正午迄林学大

意。

午后、本日午後より四日間ばかり此の自治寮に於かれま

しては休業、多数の人帰郷す。午后五時夕食。
礼拝、夜黙独〔読〕なし。九時礼拝して就寝。

二月十九日 木曜日

当寮に於ては本日より休業せられ大半帰省す。朝は起床の鐘なきも自治寮生活をなし居る健児は自治寮の精神を忘却せず、五時一同起床して各自各々取るべき仕事に従事して努力す如何〔ママ〕なかつた。午前七時君ヶ代再唱して就食。食後は読書するもあり。時々大声に詩を吟するものあり。健脚にまかせて市内を踏歩するものあり。集ひて郷里の話に嬉々とするあり。議論を交へて余念なきありて、人数人に過ぎざるも自治寮のにぎはひ常に異ならず。

夕食五時。

九時礼拝、各自就寝。

二月二十日 金曜日 晴

起床、午前五時、冷水浴ヲヤルモノアリ。炊事ニ掃除ニ

各々ヤツタ。斎藤圭介、元木賢治、三浦新悦、高橋信雄、新田育太郎、石川鑛蔵、富樫清作、以上七名。

朝食事、七時君ヶ代二唱シテ戴ク。斎藤君ト元木君ハ農事試験場ニ農事講習会に行カレタ。

夜、音楽読書論語□〔カキ?〕外出等。各自色々ノ話ニ花ヲ咲カセタ。午后九時七名礼拝シテ就寝。

加藤所長先生ト井上先生トハ図書館ノ読書会ニ御出席ナサレテ九時ノ礼拝ニハ出ラレナカッタ。

二十一日 土曜日 雪

異常なし。午後四時頃耆人、五時頃二人、第四期生三名来る。

二月廿二日 晴

起床、后前五時。

記事、后後より大方の諸君は帰寮せられた。夕食後入浴。礼拝、后後九時。

二月廿三日

起床、午前五時。

学科、午前八時より拾時迄井上先生の土壤学、拾時より

拾壹時半まで中館講師の自治制度。午后より城南

練兵場に於て航空隊の耐寒飛行見学の為一同行く。

午后四時帰る。

礼拝、午后九時後就床す。

二月廿四日 晴後小雪

起床、午前五時。午前八時より加藤先生の農学大意。十

時より横田先生の林学大意。午后一時半より一同

武道四時まで。

礼拝、午后九時後就床す。

二月廿五日 晴

起床、例の通り各当番任務に就く。

学科、午前八時より拾時まで加藤先生の植物生理学、拾

時より拾一時半まで横田先生の林学大意、午后一

時より一同武道四時まで。

礼拝、黙読後九時礼拝致し就床す。

二月廿六日 木曜日 少雪 自治寮第一号室 城戸口生

記「城準」の印

起床、午前五時と云ふに我自治療の健児は一斉に鈴音の

合図になつかしい床より起く。或は午前五時前に

裸を真面目に行ふ者あり。或は炊事、或ハ掃除、

或ハ武道、実に讚美すべきは此の自治寮の青衿な

る哉。学科、本日ハ午前中僅か九時迄に農村経営を加藤先生よ

り。殊に読□〔書?〕ハ吾人ハ大に撰択すべき事

であると教はれた。

飛行見学、九時より一部の人々を除いた外ハ全部、本日

限り飛行するので、城南練兵場に列を成して説明

を聞きに行った。本日迄四日間の中ニモ弍四号ハ

掉尾の勇を以て月桂冠ヲ得、実ニ成功裡に見事耐

寒飛行ハ終了したのである。正午迄に帰る。午後

よりハ習字を習った、午後の四時迄。

礼拝、本日ハ湯が立ったから、黙読時間ハ後レテ七時過

から初まって、九時迄。九時礼拝後、各自目を摩りながら床に這入り込んで永い永い夢を仙〔迪〕った。噫々自治生活こそ実に単調なれ。

二月廿七日 金曜日 晴 二室

起床、后前五時一同起床す。各々職に就く。

学科、午前八時より十時半迄土壤学。同 十一時より十

二時迄加藤先生の経済学を学ぶ。午后一時半より

四時迄柔道の形を船越先生より学ぶ。

礼拝、午后九時講堂に一同参集、例の如く礼拝を行ふ。

午后六時より九時迄演説会を開催す。

新田育太郎

二月廿八日 土曜日 石垣

起床、午前五時、各自の任務に就く。

学科、午前八時より十時迄習字。五分間の休みにて十二

時迄井上先生の肥料学あり。午后より休み。午后

一時三十分発の列車にて、狩野氏、中川氏、高梨

氏、加藤氏は米沢市附近の万生〔万世〕村なる優

良村の視察に出頭す。一泊して帰寮せらるる由。午后五時夕食。黙学なし。早や床に就くものあり。或は打まどひて御話しに花を咲かせるものあり。或は外出するものありで、千差万別なり。げに土曜日の夜とてにぎやかなれ。……九時礼拝、直ちに床に就く。

二月廿九日 日曜日 雪 高橋信雄

起床、午前五時、各自任務に就く。

朝食、同 七時食堂に参集し君が代を再唱し目出度食を

祝ふ。今日は日曜日なれば外出の者多し。事〔殊〕

に市場見物人亦多し。后七時より黙読各人無言

〔夢中〕に勉強す。愉快愉快。

礼拝、九時一同講堂に集まり礼拝し安眠に就く。

三月一日 曇天 佐藤佐左衛門

起床、午前五時床を離れて各自仕事に就く。

学科、八時より中館先生の自治制度。十時より井上先生

の肥料の講話なりし。后一時より五六組は実習下

肥運搬。一二四組は大掃除終りてから武道を行ふ。
后七時より黙読時間は九時まで。

礼拝、九時に一同礼拝を了して床に就く。

三月二日 火曜日 晴

起床、例ノ通り。

学科、第八時ヨリ所長様ノ植物学。拾時ヨリ井芹技師ノ

果樹栽培ノ講話アリ。午后一時ヨリ井上先生ノ肥

料学及び柔術等アリ。

礼拝、九時、異常ナシ。

井上天地郎

三月三日 晴後小雪 奥山省二郎

起床、定刻に違ふ事なし。

学科、午前八時半より拾時拾数分迄憲法大意（有吉理事

官）。同拾時半より正午に至る迄林学大意（横田

林業技師）。午後壹時半より武道（船越師範）四

時迄。但し炊事当番を除く以外の寮生。同六時数

分より農村経営の村ノ小機関及び江俣信用組合の

大要を同八時半迄（第一期生たりし五十嵐政次郎
氏）。

礼拝、終りて吾が互誼会報（二月発行）落手と□しに同

九時の礼拝時迄眼を貫通せる者多し。

〔三月四日〕の日付なし

起床、前日に同じ。

朝食、七時君が代二唱後食事。

学科、産業組合、井上先生、肥料、午後習字。

食事、五時。

礼拝、異常なし。

本日当番 八室 高梨

三月五日 金曜日 河口作之助

起床、前日に同じ。

朝飯、七時君が代二唱後食事。

学科、井上先生の土壌学、加藤所長ノ経済。午後武道。

食事、五時。

礼拝、午後八時。

三月六日 土曜日 曇又ハ雪

本日の天候は晴れては曇り、曇りては降ると云ふ
実に定まらぬ弥生六日の今日の寒空、時々湿り多
き雪片ひよいひよいと下界を見苦しくさせた。

起床朝仕事、本朝起床は定刻、午前第五時一斉に暖かい
床をはね起き、掃除に炊事と皆やったけれども、
昨晚の所長先生の御注意あらせられたのに一同ピ
ンとひゞいたと見えて、「武道ヲ始メヨ」と云ふ
合図の鈴の音はひゞかなかつたので、従つて
エーツエーツの力強い気合の声もひゞかなかつた
が、後方「ルビに「ノチガタ」とあり」三四名、
我レコンハと思ひてか、やっぱりやった勇者もあ
る。而も此位各自が自重すれば悪性寒冒も何んの
その、大丈夫だ、先生かたがた御心配遊ばすには
及びません。

朝食事、午前七時皇国の弥栄を念じ君が代を再唱して有
難く戴く。

学科、本日ハ学科なし。

◎悪性流行寒冒予防注射

午前第八時半より予防注射を行ふべく。最初五組
第二組、次に第三第四組、最後に第五第六組と順
を追ふて西野医院へ出院した。午前中に全部終へ
た。土曜日の事なれば帰省の方少くない。午後は
自由行動、自習に談欒に色々。

夕食事、午后五時、黙読時間は本晩なし。
礼拝、午後八時終つて随時就床。

井上先生より明朝の行動に付御注意ありたり。午
后九時四十分頃に至りて全く人籟絶えて突然屋上
より雪なだれがザー、ドドドドドードシン。

三月七日 日曜 十一室 臥牛

流感予防注射を昨日施行したるに付、今朝は六時。起床
のベルは全寮にひゞいた。つれづれ三々五々入りかはり
立ちかはり門は寮友を吞吐する。三度の食事定刻の黙学
礼拝就床。他に別して記して以て後日の思出とすべき程
の事なし。

三月八日 月曜日 一同

五時起床、四組炊事、其他は武道掃除と各自当番の仕事
をなす。七時君ヶ代再唱、朝食す。第一限井上先生の土
壤学、第二限は加治先生の産業組合、午后より又井上先
生の土壤学、三時より大掃除。或一部は蕪菁大根採り。
五時夕食。七時より例により黙読。九時礼拝。

三月九日 火曜日 晴天 阿部生

起床朝仕事 時計が五時を告げた。起床の鐘がガランガ
ランと鳴り響いた。さぞや夢路を破られた者もあ
らう。程なくがたがたと各健児床を飛び起る音で
喧しい。早くも浴室では冷水浴をやる者も多く
あつた。四組は炊事に余念が無い。其外の組は掃
除に武道に各任務に服従す。午前七時一同君が代
二唱の後食事。

学科、八時より十時迄井上先生の肥料学、十時より正午
迄習字致せり。

弁論会、午后一時より講堂に於て演説会を開かれたり。
各弁士雄弁を振ふて思ひ思ひの感想を叫ぶ。終り
に井上先生の各弁士の演題に対し批評をなされて

五時閉会せり。五時半夕食。

黙読礼拝、夜は黙読礼拝九時、後就眠。

三月十日 水曜日 晴天 十五室

起床、陸軍記念日なる為か五時前より浴室にて冷水浴を
やり、且つ運動なす声例日より一増〔層〕喧すし。
聽て各自任務に就く。七時君が代二唱の下に食事
を了す。

学科、第一校時有吉先生の憲法あり。次に横田先生の林
学大意を習ふ。本日は陸軍記念日の為午後休みた
り。

礼拝、午後七時より目〔黙〕読、九時礼拝なし就床せり。

三月十一日 木曜日 曇

起床、定刻に起床し各組各自各任務に精勵定刻朝飯す。

学科、八時より十時迄産業組合（加治先生）、十時より
十二時迄農村経営（所長先生）。加治先生も今後
益々多忙となり、本月は今日限りとして此に一段
落を付けて置くとの沙汰ありき。

所長先生も先づ快方に趣かれ本日農村経営の御講義をな

され、之も又一先づ終る。船越先生も快方になら
れ、本日より来られた。

午後、午後一時半より四時半迄武道、夜船越先〔先生〕

以下三四名の人、鈴川村に御出なされたり

礼拝、定刻礼拝就床。

三月十二日 金曜日 あめ後晴 鳥貫

起床、同じ

視察、東村山郡金井村役場視察

礼拝、同じ

十三日 土曜日 晴

例の通り例の如く起床食事す。八時より第二回の感冒予

防注射する。午後より各自自由行動なり。礼拝、

注射の爲め八時半済まして各自就臥床。

三月十四日 日曜日 晴

起床、六時（前日注射ノ爲め）。

礼拝、黙読七時ヨリ九時迄ニシテ九時ニ礼拝就眠ス。

三月十五日 月曜日 曇後雨 佐藤榮齊

起床、定刻に起床し各自各作業任務に就く。七時朝食を

なす。午前八時より鈴川村に至り郷社神明神社を

参拝。

学科、午前九時半より正午迄加藤先生の経済学の講義を
聴く。

午後、午後一時より一、三、五組は掃除及武道、二、四、

六組は農場に至り、一部は馬糞拾ひ、他は温床準

備をなす。我等馬糞拾ひに出ればあざけり笑ふ

ものあり。斯くの如きは労働は神聖也の一字をも

思はざるの輩、馬糞の一握りも投げつけてやりた

き心地致したれど先づぐつと耐らへて又進む。

礼拝、定刻に礼拝就寝す。

三月十六日 火曜日 一日降雨 井上長六

起床、いつもの通り五時に起床して各自任務に従事す。

食事、午前七時食堂に集合、君が代二唱して朝食す。

学科、午前中の学科は所長さんの植物学、農場に付いての注意事項の御話し有り。正午迄。

午後 午後よりは二、四、六組武道、一、三、五組は実

習、藁仕事をした。春雨は絶え間なく降り続いて何となく陰鬱な天気である。午後五時夕飯を済ます。

礼拝、定刻に礼拝し各自就寝す。

三月十七日 水曜日 晴

起床、定刻五時に起床す。

学科、午前中は有吉さんの「帝国憲法大意」と横田さんの「林学大意」。午后より二、四、六組実習「農場温床」、一、三、五組武道。

礼拝、定刻九時礼拝の後就床。

参月十八日 木曜日 曇 二十号室記

起床、定刻五時の起床合図の振鈴に寮生すはと許り起き、一同は勇ましき活動振を校内此処彼処に開始せられた。数日來の雨天は昨夜より雪と化し、春の山

形は又冬の様な陰悪な天候となった。午前七時先生生徒一同、例の通り食堂参集、国歌君が代合唱後朝食を喫した。

学科、八時より所長先生の経済学講義にて労働能率大小の原因なる労働組織中の分業に関する御説明を専ら十時迄、拾時過より農場に於ける蔬菜栽培方法及び注意等の御話あり。

午後、一時より第一三組は実習にて温床準備、其の他の組は一同武道をやる。各午後四時半止む。夜は例日の如く七時より自習。

礼拝、九時礼拝して就床 「〔今兼〕の印」

三月十九日 金曜日 新海生記

起床、通常の通朝仕事あり。

学科、午前中ハ農村経営を十時半頃迄に学んだ。十時半頃より井上先生の土壤の御話あり。正午十二時午後より各組久し「しく」も農場実習を□「還？」つた。或は麦の打返、或は温床に、或は馬糞拾に芋掘りに、各自自治式に変製〔編成〕し着実に実務

に着く。大いに労働した。帰舎は午後五時過揃つて熱心に肉汁を食ふ。大いに奮へ。

礼拝、本日所長先生ハ出張されました。而して今晚□〔?〕た御帰りにならせました。一同講堂にて八百万の神に対して吾等真面目を通して遙拝した。午後九時春陽の恵に昧せられて各々長閑な夢路を遠く遠く辿るのであった。

参月式拾日 土曜日 晴 中川記

朝、炊事第五組、武道第一、三、四組、掃除第二、六組。午前八時より加藤所長に引率され農場一巡の後、県立養徳園参観。拾時半一同帰寮。明日ハ彼岸の中日本人として帰省者多く、午后よりの寮内ハ甚だ閑静なり。

夜、黙読無し。九時講堂に於て礼拝し直ちに就床。

三月廿一日 日曜日 祭日 哲人記

朝五時起床、各其の任務に就く。七時朝めし…君が代合唱の後…。本日は春期皇霊祭なれば門に立てる日

の丸の旗は初春の日に陽やきてチラホラ見ゆ。今日此頃の春めいた天氣に浮かされてか我が自治寮の健児は三三五五に打つれて寮より出ず。靴のか、とも軽々と…。而して面には微笑をもらし…。七時より黙学。九時礼拝。直ちに眠に就く。

三月二十二日 月曜日 快晴

朝七時起床し各其の任務に就く。七時朝めし君が代合唱後に食し。八時より船越先生の習字、十時より加藤先生経済学、午前〇時十分食事。午後より農場で実習、麦の土寄せ、又は肥かけと除草、馬糞拾ひ、堆肥つみかへ、各々分業で各自真面目で五時迄奮闘した。自治寮に帰つたのは五時過ぎつてか否や、鈴と共に食事、トロ、飯を一同満腹〔腹〕した。七時より黙学。九時礼拝して各自安眠した。(三浦記)

三月二十三日 雨後曇 佐藤佐左衛門

五時起床、各自任務に就く。七時に朝飯、君が代二唱。

八時より所長の経済学、十二時まで。後は武道に実習、
繩ナヒ。九時礼拝をなして就床す。

三月二十四日 水曜 晴少雲 佐藤信太郎記

朝通常五時起床、各自任務ニ就ク。

午前七時君が代ヲ二唱シテ朝飯ス。九時ヨリ有吉先生ノ
憲法大意十時迄（臣民ノ權利義務ノ説明）。十二時迄所
長ノ農場ノ話デアッタ。

午後一時ヨリ我が互誼会第五回演説会独り神聖ナル講堂
ニ開レタ。演題ノ様々出変リ立変ツテ弁士ガ雄弁ヲ振ヒ、
ベストヲ尽ス。東海林君ノアイドル病ノ妙薬ノ委細ナル
説明、或ハ努力等、下腹ノ力ヲ益々強ク、雄弁ノトウト
ウトシテ嬉シ嬉シニ語ル。其人其人モ聞ク。吾人等同ジ
ク下腹ニ力ヲ入レテ一同一心同体トナリ真面目ヲ逃サズ。
午後六時迄ニ終ツタ。

午後七時ヨリ黙読ハナシ。井上先生ノ送別ノ意ヲ表シ
ツ、道場ニ於イテ茶話会ヲ開ク。菓子袋ノ中ヲ望（覗）
キ見レバオイシキ色々ノ菓子ガ現ハレル。又所長ノ御話
ヤ又ハビワ等ヲ渡辺君結城君ノ詩吟ニハ一同元氣ガ付ク。

又愉快デアッタ。何時モノ定刻ヲ忘レテ十時其場デ礼拝
ス。而シテ皆今日ノ愉快ナルヲ頭ニ残シテ枕高ク明日待
チグウグウト就床ス。

三月廿五日 木曜日 曇 彦太郎記

午前五時起床各自任務ニ就ク。午前七時食事君が代二唱。
午前八時ヨリ植物生理、第二時ニ農場作物栽培学、所長
殿ノ講義アリ。

正午食事。午后第五期生記念写真ヲ影ス。後実習温床へ
播種、茄子胡瓜南瓜等ナリ。冷床ヲ造ル。午后六時夕食、
午后時（ママ）礼拝寢就ク。

三月二十六日 平洲書く

起床、五時各自ノ任務ニ勉勵ス。

朝食、七時君が代二唱ノ後、山寺行き予定は彼地に感冒
流行の爲め中止となり、楽しき我等の農場実習と
決定し。

学科、九時より中館先生の自治制度、十時迄学科後直ち
に各自古今風個々別々の服装に身を固め、玄関の

退屈顔の飯櫃を携へて勇んで出発、耕耘牛糞運搬
冷床準備各々の分担に懸命になり、所長先生的身
を包囲して味噌漬物の御馳走で昼食、食后暫次
〔時〕休憩して各自の先生に色々肥料に就きて質
問あり。先生嘖〔臭〕氣フンブンたる糞尿を御自
分の前に安置して平然として実物に就きての御説
明、其の上先生には時々指を糞中に入れて一層御
熱心に談らる。暫く休み、又々各自の任務に取り
罹り、四時半にして一先ず切り上ぐる。帰途も亦
愉快なる先生の話伺ひ□□如何か、先生の身に
蝟集し居れり（全力を尽して後に真の歓喜あり）。
午后五時夕食。礼拝九時。

三月廿七日 土 曇

起床五時、各自任務に勉励。七時朝食。八時より植物生
理（所長）十一時迄、後書道。自習、十二時昼食。前後
より休み。九時礼拝（寢床）。

参月式拾八日 日曜日 快晴

起床、五時、各人己のが任務を致す。

朝食、午前第七時君が代再唱して戴く。

本日は日曜日にして而も快晴の春日和なれば屋内にこも
りをる者少く、殆んど全部の人は各自思ひ思ひの所、公
園に又は市内各所に散乱したるもの、如し。本日は晴れ
たる春日和なれ共、身にしむ寒い風はなほだ強かつた。
夕食事、午后五時。七時より九時まで黙読。
礼拝、午后第九時、随時就床。

三月二十九日 月曜日

五時起床後各自分担の任務ニ就く。第七時君が代二唱い
たし朝食をすまし、第八時より正午迄農場実習を成す。
午後二時より大掃除を成し、又加藤所長には一時半の列
車にて置賜中堅青年の講習会ニ行かせられた。五時夕食。
七時より九時迄目読〔黙読〕、九時礼拝后、随意ニ就床。

三月三十日 火曜日 朝雨後曇り K

五時起床、各自朝の任務に従事。七時朝食、八時より加
治先生の産業組合、都合の為め拾時頃加治先生の質問応

答拾壹時過ぎまで。拾壹時四十分昼食、一時まで自習。午後一時より東村山郡金井村助役五十嵐氏が村に於ける金井村江俣信用組合に付き、三時半まで御話ありたり。午後五時井上先生よりの御馳走、玉葱汁に舌を打つ鳴し、夕食をなす。明日には肉の御馳走ありと。いよいよ井上先生には明日御出発の由、深く井上先生の弥栄を絶叫す。御幸福を祈り上げる。加藤先生には兼ねて置賜中堅青年講習会へ御出の所、本日御帰りなさる。七時黙読、九時礼拝、了へて床に就く。

三月三十一日 水曜日

朝五時起床、各組各任務に服従す。午前九時半より有吉先生の法制経済、拾時より加藤先生の経済学。午後自習。午後五時井上先生よりの御馳走おもち飯等の御馳走ありていよいよ井上先生とお別れしなければならぬ日となった。午後七時八分気笛一声、我等の弥栄の声の中に山形を後にして出発なされた。九時礼拝就眠。

四月一日 木曜日 曇 第十五室

朝五時起床、各自任務に就く。五時半山田先生御来校、武道御教範。七時君が代二唱の下に食事済ます。八時より加治先生の産業組合。十時より中館先生の自治制度。午後一時半より山田先生の下に全部武道。九時の礼拝終りて手拭注文する事決定せり。

〔デザイン…上に横書きで大きく「弥栄」、下に縦書きで三行、「君の為に清き血を流せ」「親の為に貴き汗〔汗〕を流せ」「人の為に熱き涙を流せ」〕「山形県自治講習所」

四月二日 金曜日 曇 「嶋貫」の印

起床、朝五時。

学科、一限自治制度、二限経済、三限武道。

視察、午後一時半より成年者二十名加藤所長ト山形監獄ヲ視察ス。長谷川典獄ヨリ同獄ノ現況ニツイテ詳細ナル説明ト、近ク帰郷シテ農村ノ中堅トナリ指導、範ヲ垂ルベキ青年、即チ狩野君ノ所謂自治大學生ニ対シテ免囚保護ニ関スル注文アリ。終ツテ内状ヲ視察ス。

歓迎会、夜、東京農大、府立園芸、府立一中撃道師範、
山内次郎吉翁ノ歓迎茶話会。

四月三日 土曜日 雨

起床、午前五時各任務ヲ勉ム。

神武天皇祭、午前八時ニ講堂ニテ神社ヲ礼拝ス。直ニ山

田先生ノ流祖ヨリ七代目迄ノ講話アリタリ（十一

時迄）。午后武道。

礼拝、午後九時。

四月四日 日曜日 晴

起床、午前五時各自任務に勉む。午前八時より講堂にて

山田先生の八代目より十四代迄の講話ありき。午

後より休にせり。

礼拝、午後九時。

四月五日 月曜日 雨

起床、定刻五時。

講習会、午前及午后一時間程県議事堂に於て帝国農会の

農業倉庫理事者養成講習会に行き、橋本農学博士の農業
倉庫概論をきく。帰りて武道。後、道場で山田先生より
榊原先生のお話をきき、そこに礼拝後就床時に十時近
し。

四月六日 火曜日 晴 第貳拾号室記

起床、定刻五時、各任務に励む。

学科、経済十一時まで、後正午まで武道。午後より県会

議事堂に帝国農会農業倉庫理事者講習会に出頭し

橋本博士の農業金融に付きての講話をきいた。四

時終りて帰り武道。明日よりの五周年記念卒業生

大会出席の為、卒業生十数名来所せらる。

礼拝、九時礼拝を致して後、幹事卒業生、山崎先生を停

車場に迎ふ。

四月七日 水曜日 晴 第一号室記

本日は五周年記念卒業生の大会日である。

起床、朝五時起床、各自任務に就く。

学科、八時より横田林業技師の林学を九時半まで習ふ。

九時半よりは山崎先生の農家の経済のことに付き御公演（ママ）があつた。正午パン三枚包喰つたのである。午後一時よりも亦山崎先生の続きを話しされたのである、四時まで。四時よりは講習生一同、道場に出て山田先生より木剣を習つたのである。午後五時夕食を為す。礼拝、九時礼拝を致して直に寝りに就く。

四月八日 五周年記念日卒業生大会は昨日より 晴 木

曜日 宿直室 N

起床、五時起床、各自任務二就ク。

授業、前八時半ヨリ山崎先生ノ町村自治ノ講話十時半ヨリ、山崎先生町村自治ノツギキ、正午迄昼食はバシダ。飯ヲ食ヒタカッタ。

后後、山田先生指導のもとに一同木剣を修した。又剣道試合催さる。六時夕食、七時ヨリ黙読、九時迄。

礼拝、九時例により礼拝后就寝す。僕は頭が痛くて寝られない。それは陣痛の苦みだ。

四月九日 金曜日 快晴

起床、午前五時起床し各々其の業に就く。午前八時より正午迄の間に於て地主対小作の問題につひて御講習あり。午後は協議会にて村山、庄内、置賜の三部に分れて、地主対小作問題、補習学校問題、経済上並に思想上の Capa City に付いての三問題にて、実は大問題にて解決をつけねばならぬものなり。

午後、三時半よりは全部集まりて意見の交換をなす。所長の意見もあり、午後七時頃迄講堂に居る。山崎先生の御話に依り、自己の正道を趣く事を知り得たり。夜八時より茶話会にて清水先生の産業組合にて総ての物の解決せらる、事を知り得たり。両先生の御話は物は誠、即ち真面目の努力に依りて解決せらる、物と信ず。十一時終り礼拝して就床す。

四月十日 土 快晴

起床、朝五時床を飛起き各自任務に付く。朝食七時半。

学科、午前八時半より山崎先生の我が日本臣民の信厚の

御講演。后二時より清水先生の御講演。四時半よ

り武道。夕食六時。食後直に山崎先生の御見送り

ステーション迄。九時礼拝安眠す。

高橋信雄

四月十一日 快晴

午前五時起床、各自仕事に就く。九時より清水先生の御

話し、十二時まで。后二時より武道、六時まで。

夕食六時半。九時礼拝なして就寝す。

佐藤佐左衛門

四月十二日 月曜 晴

起床、五時静カニ響ク起床ノ金（ママ）ト共ニ一同温キ

床ヲ離レテドヤドヤト賑ヤカニ各自任務ニ就ク。

本日ヨリ第三組ガ炊事デアル。第二組武道。食事

モ君ガ代ニ唱ノ後終ヘタリ。

学科、九時ヨリ正午迄デ清水及衛先生ノ農業経営ト産業

組合トノ関係ヲ具態的ニ御説ガアタ。午後二時ヨ

リ六時迄武道。夕食六時半。

礼拝、九時礼拝シテ皆就寝ス。

第六室 佐藤信太郎 〔佐藤〕印

四月十三日 火曜日

五時起床し着任。前九時より正午迄清水先生の産業組合。

午后二時より山田先生の武道。同五時切り上ぐ。

同六時有志の清水先生の送別。同九時礼拝就寝。

四月十四日 水曇

起床、予定ノ秋田旅行モ愈々今日ト謂フノデ皆々起床時

間前ニ床ヲ飛出シ襪ヨ、炊事ヨ、武道ヨ、掃除ヨ

ト各々仕事ニ対スル熱心サモ日頃ヨリハ勝ツテ居

ル様子、各自大握飯ト一升ノ白米ヲ持ツテ出餐

（八時十五分列車）、途中及視察状況ハ記サズ。

十七日 八時朝食後、各自十時迄随意行動、十時半沼田

屋旅館ヲ出発、十一時弥高神社（佐藤深淵

平田篤胤先生）参
拜シテ十一時半、平田篤胤大人ノ墓ヲ詣デ、漸次

休憩、昼食ヲ終ス。十二時五十五分ノ直行デ帰路ニツク。

七時数分山形駅到着、一同故郷ニ帰りシ思ヒデ「ヤツパリ山形イ、ナー」ノ声タウタウ八時半、我等ノ住家ニ到着。

礼拝、九時就寢。

第八屋ニテ

十八日 晴天（日曜日）

起床、午前五時半、同六時より各自炊事掃除武道に勉勵。

七時朝食。休み。后後七時八分の上り列車にて山田先生御帰り遊ばさる。吾等は先生を御見送り申しプラットホームにて山田先生弥栄三唱。実に元氣ある叫びなりき。八時帰り各自讀書。

礼拝、后後九時、終りて就寢。

四月十九日 晴天 月

起床、午前五時ニテ各自床ヲ離レ五時二十分ヨリ掃除ニ取りカ、ツタ。四十五分武道、七時食事ニテ君ガ

代二唱シテオロシ大根ノ皿ニテシタツゞミヲ打ちテ食ベタ。

授業、八時ヨリ授業、習字船越先生ヨリ各自ノ習字清書ヲ渡サレタ。午前十時農場ニ早クノ出発ト云フノデ、授業終リテ食事。

實習、十一時一同下肥ヲ運ブモノ、車ヲ引クモノニ別レ

テ行キ、農場ノ温床ハ皆芽長クノビテ青々トシテ居ツタ。今日ハ何日ニ無ク暖イ天氣ニテ夏ノ様デアリマシタ。各自先生ヨリ分担サレテ馬鈴薯ヲ植エル人、果樹園ノ草取、又里芋ヲ植エル人、大根ヲ洗フ人ガアリ、午後六時半講習所ニ帰り、皆衆腹ガヘツテペコペコシテ來タ。七時食事。八時迄入湯シテ九時前ヨリ茶話会。加藤先生ヨリ帰省スル人ニ宿題ヲカケラレタ。一ツハ各自ノ村ニツキテ今ハドノ様ウニ取ルベキカ、又今後ノ方針、憲法大意ノ本ヲ讀ム事、一反歩ニ付キテノ作付計算ヲ調ラベルコトヲ御話アリ。

礼拝、御菓子ヲ食ベテ十時礼拝シテ寢ニ付キマシタ。終リ。

四月二十日 火曜日 晴

起床、五時鐘声ニ一同床ヲ離レ各自任務ニ従事ス。七時朝食。

学課、午前八時半ヨリ中館先生ノ自治制度選挙ノ事ニ付キ、細ニ御講義アリ。十一時ヨリ加藤先生ヨリ出所後ノ注意アリタリ。我々ハ日本人也トイフ事ヲ確實ニ知ラネバナラス。即チ日本人トシテ活動セネバナラス。其レニ自己ノ立場ヲ良解シ、不動ナル根底ノ上ニ大イニ活動スベシト。又様々ノ事ヲ細ニ御注意アリタリ。

前期終了、本日午前中ニテ前期ノ切上ゲ。午后ヨリ帰省シタル者アリ。六時頃自由ニ夕食シ夜別レノ為メ何ントモイヘヌ有様ノ内ニ一同弥栄ノ気分ニ満ツ。寮内静ニシテ時々元氣ニ満ツタル声ニテ御互しがり□トイフ。

礼拝、九時礼拝。

四月二十一日 水曜日 晴

起床、随意ナルモ荘内置賜ノ人ノミニシテ朝ノ一番列車

ニヨリテ帰省スル為メ、皆々四時ニ床ヲ飛び出し準備ニ暇ナシ。馬車ヨ、荷車ヨト各ノ重荷ヲ停車場ニ運搬シ弥栄ノ基ニ南北ヘト別ル。

実習、午前九時佐藤君唯一人残り正午マデ農場ニ於ヒテ一昨日ノ引キ続キ畑耕耘。午後ハ休憩ノ由（午後官舎ノ畑耕耘（牛蒡、菜、大根、播種）。

二十二日 木曜日

今日モ佐藤氏只一人、一日留守番ノミ。平常ト異常ナシ。起床、朝事、礼拝ノ如キ常ト同様。

二十三日 金曜日

同人只一人農場ニ於ヒテ桑樹ノ手入（結繩ヲ解キ自由ヲ与ヘ成長ヲ促ス）。起床食事礼拝異常ナシ。

二十四日 土曜日 曇

佐藤君只一人留守番。起床食事ノ時間ハ平常ト異ルトコロナシ。午後四時安達君来ル。

礼拝、九时就寝。

二十五日 日曜日 晴

佐藤一人午前中ヨリ官舎ノ畑耕耘整地、午後五時高橋登所。都合三人、平常ト異ルトコロナシ。

礼拝、九時、後寝ニ就ク。

四月二十六日 日曜日 曇 雨 寒

起床、午前五時、直チニ炊事ト掃除ニ各従事ス。八時ヨ

リ農場ニ於ヒテ甘薯ノ温床作りノ準備トシテ二人

ハ舟越先生ト共ニ滝山村迄藁取りニ行キ一人残ッ

テ藁切りヲ為ス。

午後一時昼食、暫クノ間ハ降雨ノ為休憩シテ二時半ヨリ

午前ノ引キ続キトシテ温床ノ穴ヲ為ス(二人)。

一人ハ藁切り。時微雨斜ニ降ッテ少シク寒サヲ感

ズ。六時ニ終リ。

夕食、七時。

礼拝、九時、寝ニ就ク。

以上、高橋記